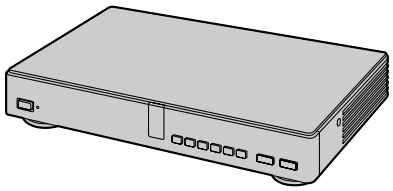
Panasonic



取扱説明書（操作編）

HD映像コミュニケーションユニット

品番 KX-VC400/KX-VC500

保証書別添付 | 技術基準適合認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

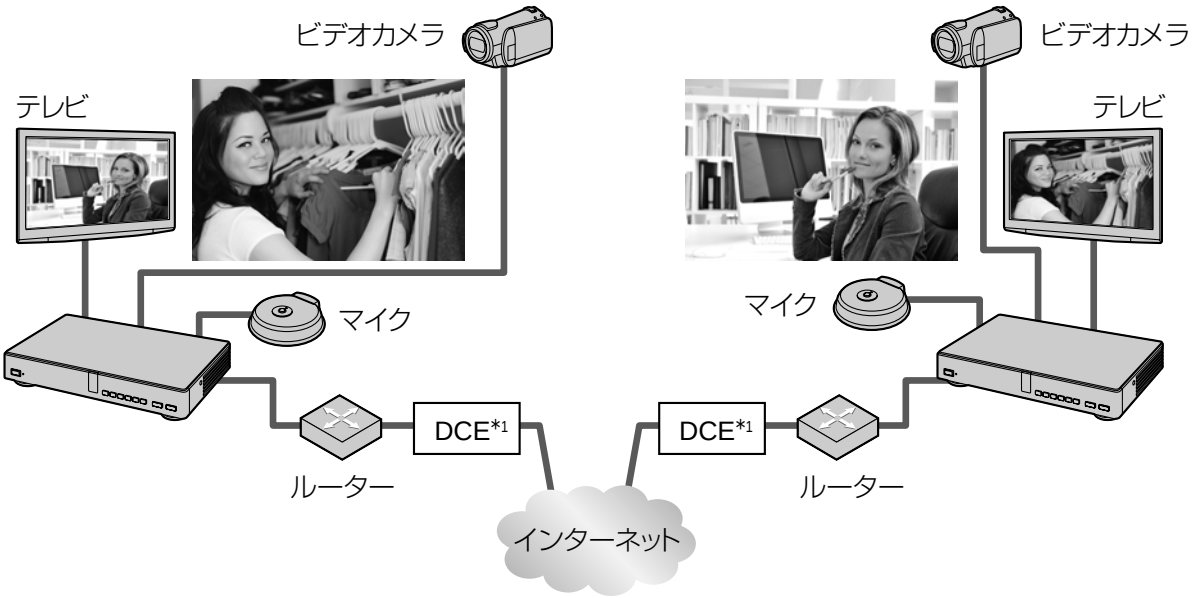
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（8〜11ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

KX-VC400/KX-VC500: ソフトウェアバージョン　2.20以上

はじめに

HD映像コミュニケーションユニットの特長

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1 DCE：回線終端装置

臨場感あふれるビジュアルコミュニケーション

なめらかな動きと高画質映像、クリアなステレオ*2音声で臨場感あふれるビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

*2 マイクを2台以上接続した場合、ステレオにするためには別途設定が必要です（専用マイク接続時のみ）（83 ページ）。

簡単操作でビジュアルコミュニケーション

本体の短縮ダイヤルボタンと開始ボタンを押すだけで、簡単にビジュアルコミュニケーションを開始することができます（31 ページ）。

AV機器感覚のリモコン操作、シンプルでわかりやすいGUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）

AV機器感覚で操作できる付属のリモコンとシンプルでわかりやすいGUIで、操作や設定を行うことができます。

安定した通信品質

ネットワークの混み具合に応じて、自動的にパケットの送信レートを制御するなどの品質制御機能を使用し、パケット損失を抑えることで映像と音声の乱れを防ぐことができます。これにより、インターネット回線でも安定した通信品質でビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

コンテンツの共有

お手持ちのパソコンやビデオカメラを本体に接続することで、パソコンの画面やビデオカメラの映像をビジュアルコミュニケーション参加者間で共有することができます（56 ページ、60 ページ）。

暗号通信

パケットを暗号処理することで、パケットの漏えいによるビジュアルコミュニケーションの内容の盗聴や改ざんを防ぐことができます。[*3]

[*3] この機能は標準モード使用時（90 ページ）のみ有効です。標準モードはインターネットまたはイントラネット回線を利用して通信を行うことができます。

次世代ネットワーク（NGN）対応

NGNは、信頼性と安定性を備えた従来の電話網に、IPネットワークの長所を取り入れた帯域確保型の次世代通信ネットワークです。NGN回線を利用することにより、安定した音声と高画質映像でビジュアルコミュニケーションを行うことができます。この機能を使用するためにはNGNモードに設定する必要があります（90 ページ）。[*4]

[*4] お客様にて「フレッツ光ネクスト」、「ひかり電話」、「テレビ電話」のご契約が必要です。ご契約時にはオフィスゲートウェイをご指定ください。また、「電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）」のご契約を推奨します。詳細については、販売店にお問い合わせください。

アクティベーションキーによる機能拡張

別売のアクティベーションキーにより、KX-VC400の機能をKX-VC500同等へアップグレードしたり、またKX-VC400/KX-VC500にMCU（多地点接続装置）接続および他社接続の機能を追加することができます（68 ページ）。アクティベーションキーで有効にした機能は、初期化後も有効です（94 ページ）。
アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

他社接続

他社製のテレビ会議システムと接続し、2地点でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。[*5] この機能を使用するためには、アクティベーションキーにより機能を有効にする必要があります（70 ページ、94 ページ）。[*6]

[*5] 接続が可能な他社製テレビ会議システムの機種については販売店にお問い合わせください。

[*6] この機能は標準モード使用時（90 ページ）のみ有効です。 暗号通信ができないため、イントラネット回線またはVPNをご利用ください。

MCU接続

MCU（多地点接続装置）に接続することで、5拠点以上の多地点間でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。[*7] この機能を使用するためには、アクティベーションキーにより機能を有効にする必要があります（71 ページ、94 ページ）。[*8]

*7 接続が可能なMCUの機種については販売店にお問い合わせください。
*8 この機能は標準モード使用時（90 ページ）のみ有効です。 暗号通信ができないため、イントラネット回線またはVPNをご利用ください。

商標および登録商標について

- HDMIは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  – AVC規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
  – 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC ビデオを再生する場合
  – ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

オープンソースについて

この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。そのため、本製品をお使いになる前に、GPLやLGPLのライセンス情報、本書に含まれるオープンソースソフトウェアについての情報をお読みください。 また、本製品の一部のソフトウェアは、MOZILLA PUBLIC LICENSE社（MPL）の認可を受けています。GPL、LGPL、およびMPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。
製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL/MPL の利用許諾条件の下、実費にて、 GPL/LGPL/MPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。
上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、以下のWebサイトにあるお問い合わせフォームまたは巻末の電話番号へお問い合わせください。
https://sec.panasonic.biz/solution/info/

その他

画面について

本書では、画面の見かたや操作手順などの説明には、標準モード（90 ページ）での表示画面を使用しています。

もくじ

安全上のご注意 8
ご使用にあたってのお願いとお知らせ 12
使用許諾契約について 12
使用上のお願い 14
アース（接地）のご確認 15
お客様の大切な情報を保護するために 15
プライバシー・肖像権について 16
準備 17
各部のなまえとはたらき 17
本体（前面） 17
本体（背面） 18
リモコン 19
バウンダリーマイクロホン（別売品） 20
状態ランプ 20
スクリーンスタンバイ 21
本体を接続する 22
電源を入れる／切る 26
画面の見かた 27
ホーム画面（待受画面） 27
メニュー画面（待受画面） 28
通信中画面 29
通信をする 31
発信する 31
短縮ダイヤル（2地点通信／3地点通信／4地点通信）で発信する 31
アドレス帳（2地点通信／3地点通信／4地点通信）から発信する 34
IPアドレスや電話番号を入力して発信する 36
通信履歴から発信する 39
着信に応答する 42
画面レイアウトを変更する 44
2地点通信中の画面レイアウトを変更する 44
3地点通信中の画面レイアウトを変更する 46
4地点通信中の画面レイアウトを変更する 49
音量や音質を調整する 52
音量を調整する 52
マイク音声をマイクオフする 53
マイク付近のノイズを減らす 54
音質を調整する 55

コンテンツを共有する 56
パソコンの画面を共有する 56
サブビデオカメラの映像を共有する 60
接続状況などを表示する 65
接続状況を表示する 65
機器情報を表示する 66
拡張機能について 68
拡張機能を有効にする 68
アクティベーションキーについて 68
多地点発信を有効にする（KX-VC400のみ） 69
他社接続を有効にする 70
MCU接続を有効にする 71
設定と登録 73
アドレス帳に登録する 73
新規に登録する 73
登録内容を編集する 74
登録を削除する 75
履歴から登録する 75
システムの設定をする 77
機器名称を設定する 77
日時を設定する 78
ネットワークの設定をする 78
音の設定をする 79
通信の設定をする 79
機器情報を表示する 82
マイク位置の設定をする 82
リモコンの設定をする 85
ネットワーク接続の確認を行う 86
自己診断を行う 87
リモートメンテナンスを行う 87
管理者メニューの設定をする 88
管理者メニューにログインする 88
言語の設定をする 89
暗号通信の設定をする 89
接続モードを設定する 90
バージョンアップ確認の設定をする 91
ソフトウェアを更新する 91
スクリーンスタンバイの設定をする 93
管理者パスワードの設定をする 93

システムの初期化を行う 94
拡張機能を有効にする 94
発信元の設定をする 96
発信元を登録する 96
発信元を選択する 97
発信元情報を編集する 98
発信元情報を削除する 99
入力について 100
文字や数字を入力する 100
その他 103
リモコンの電池を交換する 103
お手入れ 104
困ったとき 105
基本動作について 105
音声について 110
機能の設定について 111
こんなメッセージが出たら 112
その他 118
ライセンスについて 119
仕様 149
おもなシステム仕様 149
保証とアフターサービス 150
索引....152

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解・修理・改造はしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方やＡＣ 100 V 以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

機器内部に異物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁　止

火災・感電の原因になります。

- 異物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店へご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全なまま使用すると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは、使用しないでください。

⚠警告

リモコンを電子レンジに入れたり電磁調理機器などに置いたりしない

禁　止

発熱・発煙・火災・破裂の原因になります。

雷が鳴ったら本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグを抜き差しするときは、電源プラグ（金属でない部分）を持って抜く

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

付属の電源コードは、他の製品に使用しない

禁　止

火災や感電の原因になります。

電池は誤った使い方をしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **＋と－を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **＋と－を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

禁　止

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

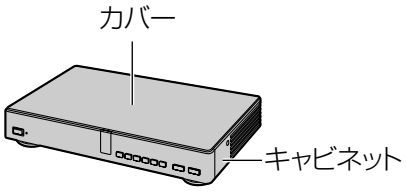
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠警告

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、液もれ・発熱・破裂の原因になります。

キャビネット、カバーを外したり、改造したりしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

アース（接地）を確実に取り付ける

アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- アース工事は、販売店にご相談ください。（アース工事費は、本機の価格には含まれていません）

⚠注意

湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では、使用しない

禁　止

火災・感電の原因になることがあります。

水平でない場所や振動の激しい場所では、使用しない

禁　止

落下により破損・けがの原因になることがあります。

長期間使用しないときや、お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることがあります。

長期間使用しないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

専用の電源コードを使用する

専用以外の電源コードを使用すると、火災の原因になることがあります。

⚠注意

火気を近づけない

火気禁止

火災の原因になることがあります。

使用許諾契約について

使用許諾契約

摘要：

ソフトウェア	Qtライブラリ
ライセンス数	1（ご購入いただきましたHD映像コミュニケーションユニットに限ります。）
ネットワーク使用	不可
お問い合わせ先・方法	パナソニック システムお客様ご相談センター（裏表紙に記載）へお問い合わせください。

この契約は、上記ソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）の使用許諾に関する契約であり、お客様が以下の内容をご承諾いただくことがご使用の条件となっています。あらかじめ以下の内容をよくお読みください。お客様が本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたはご使用を開始されることにより、お客様はこの契約に同意したものとみなされます。お客様がこの契約に同意できない場合には、本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたは使用しないでください。

第１条（著作権）

パナソニック システムネットワークス株式会社（以下、当社といいます。）および／あるいはその許諾者が著作権を有する本ソフトウェアに関し、当社はお客様へライセンスするために必要な権利を有しています。お客様による本ソフトウェアの使用に関して、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、本ソフトウェアに関する全ての権利は当社および／あるいはその許諾者に帰属します。

第２条（使用許諾）

1. お客様は、この契約の内容に従うことを条件に、上記ライセンス数のコンピューターにおいて本ソフトウェアを使用することができます。但し、お客様が法人の場合、上記の許諾されたライセンス数の範囲内で、同一法人かつ同一事業拠点内に限り使用することができます。
2. 上記ネットワーク使用が「可」の場合、ネットワークで使用するためにネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることができますが、上記ライセンス数を越えるコンピューターで同時に使用することはできません。上記ネットワーク使用が「不可」の場合、ネットワークで使用するためにネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることはできません。
3. 本ソフトウェアが当社のハードウェア製品用のソフトウェア（以下、ハードウェア製品用ソフトウェアといいます。バージョンアップ版も含みます。）の場合、お客様はそのハードウェア製品が接続（ネットワーク経由の接続も含みます。）されたコンピューターでのみ本ソフトウェアを使用することができます。

第３条（使用の制限）

1. お客様が、本ソフトウェアをご使用になる前には、必ずすべての重要なデータ（コンピューターに接続されるフロッピーディスクやハードディスク等の記憶装置中のデータ）のバックアップを取ってください。
2. お客様は、本ソフトウェア及び付属するドキュメントを複製することはできません。但し、バックアップ用あるいは保管用として必要な範囲で本ソフトウェアをコピーすることはできます。
3. お客様は、本ソフトウェアの変更または改造を行うことはできません。
4. お客様は、本ソフトウェアの全部または一部について、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、解析を行うことはできません。
5. お客様は、本ソフトウェアを、有償・無償を問わず第三者に貸与することはできません。

第４条（保証の範囲）

1. お客様は、本ソフトウェアがいかなる状況においても不具合を生じることなく動作継続できるものではないことをあらかじめご了承ください。お客様の通常の使用におきまして、本ソフトウェアに不具合が生じた場合は、上記お問い合わせ先・方法により、お問い合わせください。お問い合わせの内容に関し、知り得る限りの範囲内で内容の誤りや使用方法の改良など、必要な情報をお知らせ致します。
2. 本ソフトウェアの不具合により記憶装置中に保存されたデータが変化・消失した場合でも、当社（以下、本条において、当社の親会社、関連会社及びあるいは子会社を含む）は保証致しません。
3. 当社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できないことから生じる偶発的ある

いは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、 その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

4. お客様が、オペレーティングシステムの変更あるいはバージョンアップにより、コンピューターを含む動作環境を変更された場合、当社は本ソフトウェアをその動作環境に適用させる責任を負いません。
5. お客様の変更または改造により、本ソフトウェアに何らかの欠陥が生じたとしても、当社は保証致しません。また、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても、当社は責任を負いません。
6. この契約に基づく当社の責任は、本ソフトウェアのご購入に際しお客様が実際に支払われた金額、もしくは本ソフトウェアがハードウェア製品用ソフトウェアの場合そのハードウェア製品のご購入に際しお客様が実際に支払われた金額を上限とします。但し、当社の故意または重大な過失による場合は、この限りではありません。

第５条（譲渡）
お客様は、この契約書と共に本ソフトウェア（すべてのコピーを含みます）、付属するドキュメント並びに当社のハードウェア製品（ハードウェア製品用ソフトウェアの場合に限ります。）の全てを譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することができます。

第６条（契約の終了）

1. お客様は、いかなる時でも本ソフトウェア（すべてのコピーを含みます）並びに付属するドキュメントを廃棄することによって、この契約を終了させることができます。
2. お客様がこの契約の内容に違反した場合、当社はこの契約を解除し、お客様における本ソフトウェアの使用を終了させることができます。その場合、お客様は本ソフトウェア（すべてのコピーを含みます）並びに付属するドキュメントを廃棄しなければなりません。

第７条（その他）
本ソフトウェアを海外に持ち出す場合には、お客様は日本国外国為替及び外国貿易法、米国輸出管理法およびその他の国の法令を遵守しなければなりません。またこの契約は、日本法により解釈され、統治されるものとします。

使用上のお願い

本機をご使用になる際は、以下のことに注意してください。

1. **設置・増設・修理は、お買い上げの販売店へご相談ください。**

2. **機器に、強い衝撃や振動を与えないでください。**
   落としたりぶつけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。

3. **冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください。**
   故障や動作不良の原因になります。

4. **ラジオ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから約2 m以上離してお使いください。**
   機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因になります。

5. **直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。**
   機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因になります。

6. **硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。**
   故障や機器の寿命が短くなる原因になります。

7. **殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください。**
   変質したり、塗料がはげる原因になります。

8. **キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気カード類をマイクに近づけないでください。**
   カード類が使えなくなることがあります。

9. **電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波ミシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください。**
   雑音の発生や故障の原因になります。

10. **周囲の壁面から10 cm以上離してお使いください。**
    壁面に密着させると、機器の放熱効果が悪くなり、動作異常を起こす可能性があります。

11. **湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。**
    本機および電源プラグは防水仕様にはなっておりません。

12. **電源プラグは抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。**

使用環境について

本機には、使用環境に合わせて、自動的に相手の声を聞き取りやすく調整する機能があります。通信開始直後は、本機が使用環境に適応できていない場合があり、音が途切れたり、エコー（自分の声がスピーカーから聞こえる現象）が発生することがあります。そのため、通信開始直後は、相手と交互にお話ください。

移動について

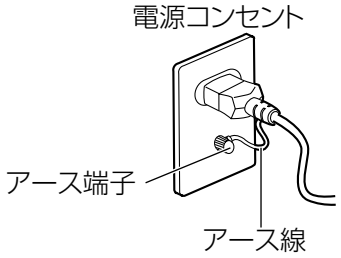
コード類を接続した状態で移動しないでください。コード類の破損の原因になります。

その他

- この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- この製品は、高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品です。
- 停電すると、本機は使えません。

アース（接地）のご確認

ご使用前にアースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。



- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、本体背面のGND端子に市販品のアース線を接続してアースを取り付けてください。
- 市販品のアース線を使う場合は、0.75 mm²（AWG 18）以上、色は緑と黄色のしま模様のものを使用してください。
- 水気や湿気の多い場所に設置する場合は、電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう、法令で定められています。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- 水気のある場所では、このほかに漏電遮断器を取り付けてください。（法令で規定されています）
- 本機には避雷対策回路が内蔵されていますが、正しくアース処理が行われていない場合には効果がありません。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています）
- 設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けを行ってください。
- ご不明な点は、販売店にご相談ください。

お客様の大切な情報を保護するために

お客様固有の情報の流出による、不測の損害を回避するため、下記事項をお守りください。

本機の不正使用による損害に対し、当社は責任を負いかねます。

情報の損失を防ぐために

登録したアドレス帳の内容は、メモなどに控えるようにしてください。

情報の流出を防ぐために

- 不特定多数の人が出入りするような場所に、本機を放置しないようにしてください。
- 重要な情報を保存する場合は、本機を適切な場所で管理するようにしてください。
- 重要な個人情報は、本機に登録しないようにしてください。
- 下記のような場合は、アドレス帳など必要な利用者情報はメモなどに控え、本機をお買い上げ時の状態に初期化してください。初期化を行う場合は、販売店にご連絡ください。
  - 本機を譲渡・廃棄する場合
  - 本機を貸し出す場合
  - 本機を修理に出す場合
- 本機を修理に出す場合は、お買い上げの販売店へ依頼するようにしてください。

本製品は、お客様固有のデータ（アドレス帳や発着信履歴など）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください（94 ページ）。

ネットワーク上での情報の漏えいを防ぐために

- 重要な会議に使用する場合は、盗聴対策のとられているネットワーク上で本機を使用してください。
- 本機は、適切に管理されたLAN上で使用し、不正アクセスが行われないようにしてください。
- 本機と接続するパソコンのセキュリティは、常に最新の状態にしてください。

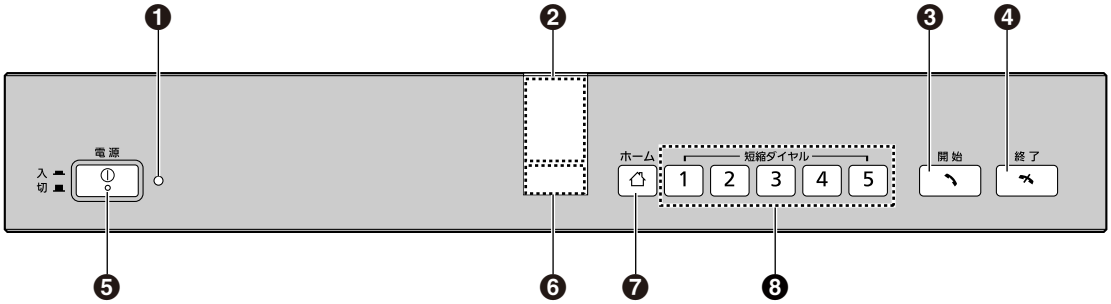
プライバシー・肖像権について

本機の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。
- 自動応答機能をオンにすると、相手先からの着信と同時に通信が始まります。着信側は、予定外の時刻や予定外の相手先からの着信においても同様に通信が開始されます。 自動応答機能をオンにする場合は、予期せぬ自動着信によりプライバシー・肖像権の侵害、機密情報の漏えいの恐れがありますのでご注意ください。

各部のなまえとはたらき

本体（前面）



❶ 電源ランプ
電源の状態を表示します。電源が入っているときは赤色に点灯し、入っていないときは消灯しています。

❷ リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。最大受信範囲は本体正面で約8 m、左右それぞれ約20°の位置で約3 mです。

❸ 開始ボタン
発信をするときや、手動で着信に応答するときに使用します（31 ページ、42 ページ）。

❹ 終了ボタン
通信を終了するときに使用します。

❺ 電源ボタン
電源の「入／切」を行います（26 ページ）。

❻ 状態ランプ
本体の状態を表示します（20 ページ）。

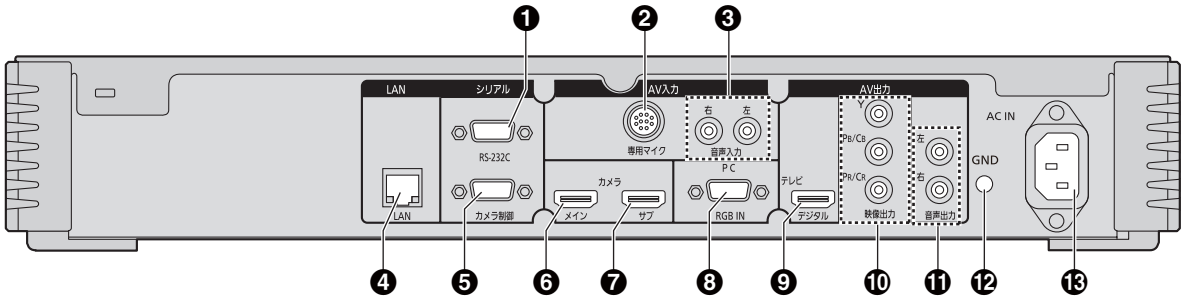
❼ ホームボタン
ホーム画面を表示させるときに使用します（27 ページ）。

❽ 短縮ダイヤルボタン（ランプ内蔵）
ホーム画面に表示されている相手先（最大5件）を発信先として選ぶときに使用します（32 ページ）。

お知らせ

- 通信中は、**【電源】**と**【終了】**以外のボタンは使用できません。

本体（背面）



❶ **RS-232C端子**
使用しません。

❷ **専用マイク端子（22 ページ）**
専用マイク（別売品）（20 ページ）を接続するときに使用します。

❸ **音声入力端子（22 ページ）**
専用マイク以外の汎用マイクをライン入力で接続するときに使用します。

❹ **LANジャック（23 ページ）**
LANケーブルを接続します。

❺ **カメラ制御端子**
使用できません。

❻ **メインカメラ端子（22 ページ）**
ビデオカメラ（メインビデオカメラ）をHDMIケーブルで接続します。

❼ **サブカメラ端子**
メインビデオカメラとは別に、コンテンツを共有するためのビデオカメラ（サブビデオカメラ）をHDMIケーブルで接続するときに使用します（60 ページ）。

❽ **PC端子**
コンテンツを共有するためのパソコンを接続するときに使用します（56 ページ）。

❾ **テレビ端子（22 ページ）**
テレビをHDMIケーブルで接続するときに使用します。

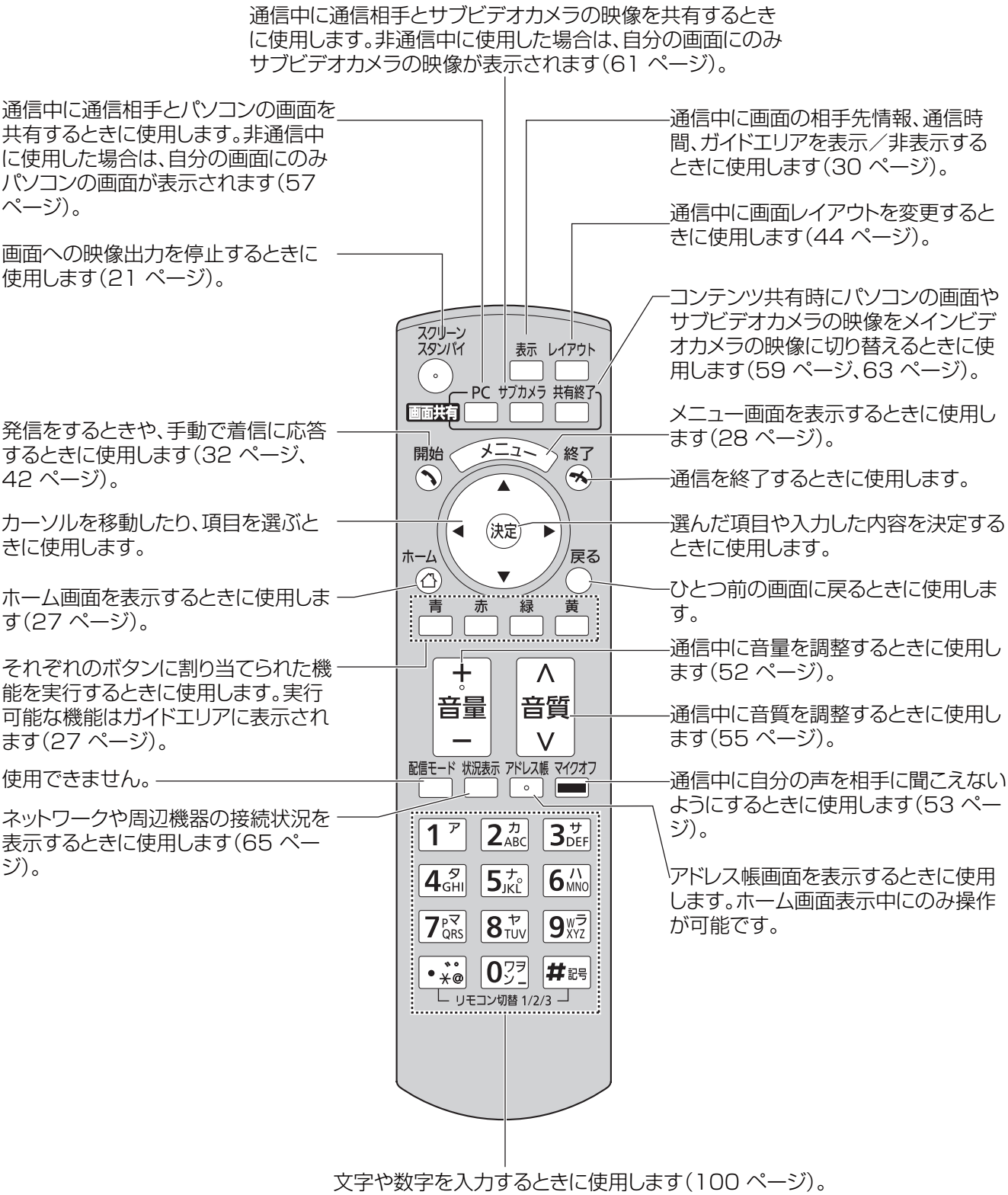
❿ **映像出力端子（25 ページ）**
テレビをコンポーネントケーブルで接続するときに使用します。

⓫ **音声出力端子（25 ページ）**
アンプ・アクティブスピーカーを接続するときに使用します。

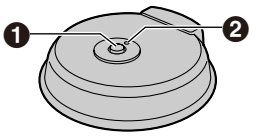
⓬ **GND端子**
電源コンセントにアース端子がない場合、アース（接地）を取り付けるときに使用します。

⓭ **AC IN端子（23 ページ）**
電源コードを接続します。

リモコン


通信中に通信相手とサブビデオカメラの映像を共有するときに使用します。非通信中に使用した場合は、自分の画面にのみサブビデオカメラの映像が表示されます(61 ページ)。
通信中に通信相手とパソコンの画面を共有するときに使用します。非通信中に使用した場合は、自分の画面にのみパソコンの画面が表示されます(57 ページ)。
画面への映像出力を停止するときに使用します(21 ページ)。
発信をするときや、手動で着信に応答するときに使用します(32 ページ、42 ページ)。
カーソルを移動したり、項目を選ぶときに使用します。
ホーム画面を表示するときに使用します(27 ページ)。
それぞれのボタンに割り当てられた機能を実行するときに使用します。実行可能な機能はガイドエリアに表示されます(27 ページ)。
使用できません。
ネットワークや周辺機器の接続状況を表示するときに使用します(65 ページ)。
通信中に画面の相手先情報、通信時間、ガイドエリアを表示／非表示するときに使用します(30 ページ)。
通信中に画面レイアウトを変更するときに使用します(44 ページ)。
コンテンツ共有時にパソコンの画面やサブビデオカメラの映像をメインビデオカメラの映像に切り替えるときに使用します(59 ページ、63 ページ)。
メニュー画面を表示するときに使用します(28 ページ)。
通信を終了するときに使用します。
選んだ項目や入力した内容を決定するときに使用します。
ひとつ前の画面に戻るときに使用します。
通信中に音量を調整するときに使用します(52 ページ)。
通信中に音質を調整するときに使用します(55 ページ)。
通信中に自分の声を相手に聞こえないようにするときに使用します(53 ページ)。
アドレス帳画面を表示するときに使用します。ホーム画面表示中にのみ操作が可能です。
スクリーンスタンバイ
表示
レイアウト
PC
サブカメラ
共有終了
画面共有
開始
メニュー
終了
決定
ホーム
戻る
青
赤
緑
黄
音量
音質
配信モード
状況表示
アドレス帳
マイクオフ
リモコン切替 1/2/3
文字や数字を入力するときに使用します(100 ページ)。

バウンダリーマイクロホン（別売品）

バウンダリーマイクロホン （専用ケーブル同梱 ケーブル長：約8.5 m）

品番：KX-VCA001

❶ マイクオフボタン

通信中に自分の声を相手に聞こえないようにするときに使用します（53 ページ）。

❷ ランプ

バウンダリーマイクロホンの状態を表示します。
赤色（点灯）：マイクオフ中
緑色（点灯）：通信中
オレンジ（約1秒間点滅）：起動中
消灯：非通信中

お知らせ

- 本書ではバウンダリーマイクロホンを「専用マイク」と記載しています。
- 専用マイクは4台までカスケード接続できます。
- ご注文は、お買い上げの販売店へご相談ください。

状態ランプ

ランプ表示で本体の状態を確認することができます。

ランプ	本体の状態
青色（ゆっくり点滅）	• 起動中 • 待受状態
青色（点灯）	• 通信中（発信中、着信中、切断中を含む）
橙色（点灯）	• 自己診断中
橙色（点滅）	• 本体とテレビの動作周波数[*1]の不一致 （30秒間点滅した後、本機はセーフモードで再起動します。）
赤色（点灯）	• 障害発生中 • 保守メンテナンス中
赤色（点滅）	• 重大な障害発生中

ランプ	本体の状態
消灯	• 電源「切」状態 • スクリーンスタンバイ状態

*1 テレビやビデオカメラなどの機器は、それぞれの映像形式に基づいた動作周波数で動作します。動作周波数の詳細については、販売店にお問い合わせください。

スクリーンスタンバイ

通信していない状態で本体またはリモコンの操作を約10分間（デフォルト）行わなかった場合、またはリモコンの**【スクリーンスタンバイ】**を押すと、スクリーンスタンバイ状態になります。スクリーンスタンバイ状態になるとテレビへの映像の出力が停止され、状態ランプが消灯します。
本体またはリモコンの操作を行ったり、着信があると、スクリーンスタンバイ状態は解除されます。

お願い

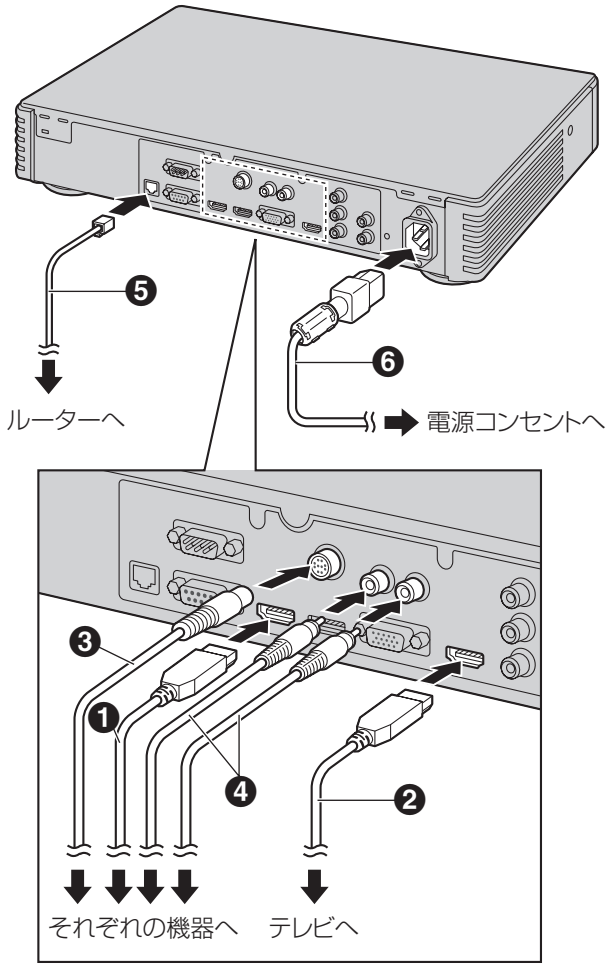
- 本機でスクリーンスタンバイ状態を解除しても、映像が映らないときは、テレビやビデオカメラの省電力機能を解除してください。解除のしかたは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を変更することができます（93 ページ）。
- 本体またはリモコンの操作をある一定期間行わなくても、パソコン画面またはサブビデオカメラの映像を自分のテレビに表示している間は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。
- 本体またはリモコンの操作を行ってスクリーンスタンバイ状態を解除した場合は、常にホーム画面が表示されます。
- スクリーンスタンバイ状態のとき、本体またはリモコンの操作を行ってもスクリーンスタンバイ状態が解除されるだけで、操作したボタンの機能は実行されません。
- アドレス帳登録画面などの編集作業中にスクリーンスタンバイ状態へ移行した場合は、保存していない変更は破棄されます。
- スクリーンスタンバイ状態を解除して、映像が映るまでに、約7秒かかります。
（かかる時間はお使いのテレビの種類により異なります。）

本体を接続する

ここではメインビデオカメラ、テレビ、マイク、LANケーブル、電源コードの接続のしかたを説明します。



お願い

- 必ず付属の電源コードを使用してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

1 メインビデオカメラを接続する

- HDMI ケーブル（❶）でメインビデオカメラと本体背面のメインカメラ端子をつないでください。

2 テレビを接続する

- HDMI ケーブル（❷）でテレビと本体背面のテレビ端子をつないでください。

お知らせ

- パナソニック（株）製テレビの場合は、次の確認をしてください。
  - 業務用PDPの設定例：
    「画面位置/サイズメニュー」で水平・垂直位置／サイズを調整してください。
    音声の調整、音量オートおよびサラウンドをオフに設定してください。
  - 民生用テレビの設定例：
    「設定する」の「画面の設定」の「HD表示領域」を「フルサイズ」に設定してください。

- 接続するテレビがHDMIに対応していない場合は、コンポーネントケーブルをお使いください（25 ページ）。コンポーネントケーブル使用時は、音声信号は伝送されませんので、アンプ／アクティブスピーカーを接続してください（25 ページ）。

3 マイクを接続する

専用マイク（別売品）

専用ケーブル（❸）で専用マイクと本体背面の専用マイク端子をつないでください。

- 必ず専用マイクに付属のケーブルを使用してください。
- 専用ケーブルのコネクター部をカチッと音がなるまで押して回してください。接続できない場合は、コネクター部の上下を反転させて、再度実施ください。

汎用マイク

マイクアンプなどでラインレベルまで信号レベルを増幅してから、ステレオピンプラグケーブル（❹）で汎用マイクと本体背面の音声入力端子をつないでください。

- 左チャンネル（L）、右チャンネル（R）を確認して、接続してください。

お知らせ

- 専用マイクと汎用マイクをともに接続した場合は、両方のマイクからの音声入力が有効です。

4 ネットワークに接続する

- カテゴリー5以上のLANケーブル（❺）でルーターと本体背面のLANジャックをつないでください。

お知らせ

- ハブ、ルーターの設定はオートネゴシエーションに設定してください。
- 全二重（100M Full）固定で運用の場合はシステム設定を変更してください。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 半二重に設定されたハブ、ルーターに接続しないでください。
- ルーターおよびDCE（回線終端装置）の詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

5 付属の電源コード（❻）を本体背面のAC IN端子に差し込む

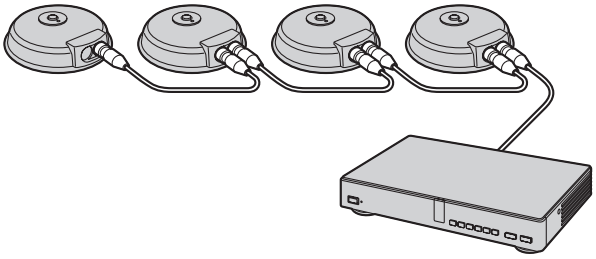
- 必ず本体に付属の電源コードを使用してください。

6 電源プラグを電源コンセントに差し込む

- 電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。

マイクについて

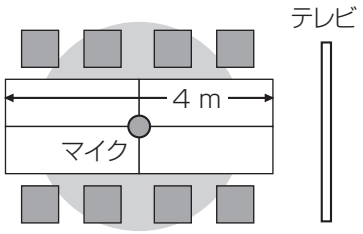
専用マイクは4台までカスケード接続できます。マイク側の端子に入力／出力の区別はありません。
また、専用マイクと汎用マイクを同時に使えます。

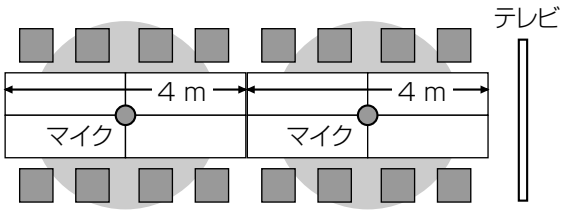


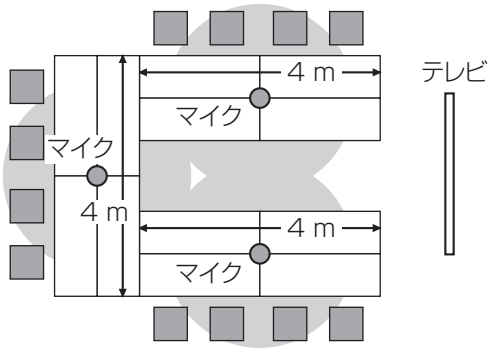
お知らせ

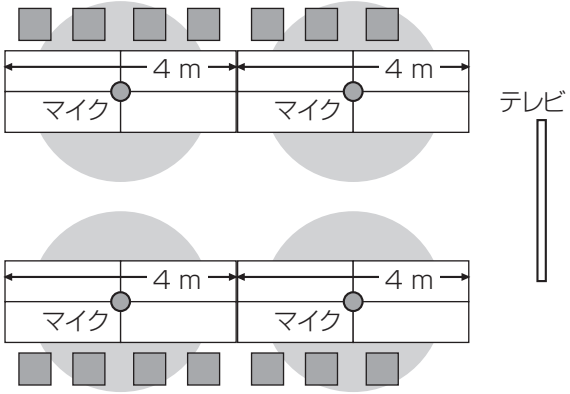
- マイクは、テレビ、スピーカーから1 m以上離して設置してください。
- 専用マイクを5台以上接続しないでください。接続すると専用マイクからの音声入力がすべて機能しなくなります。
- 専用マイクを2台以上接続した場合、相手側に送る音声をステレオにするためには、別途設定が必要です（83 ページ）。
- MCU接続または他社接続の場合、相手側に送る音声はモノラルになります。

レイアウト例
（グレーの円が集音範囲を示しています。）：







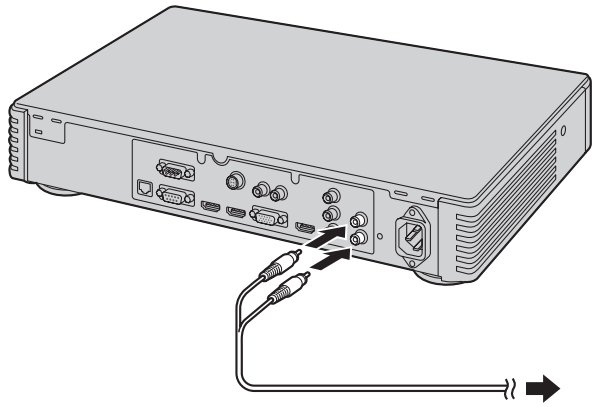


使用する会議室の騒音レベルとマイクの数によって、マイク1台あたりの集音範囲（マイクを中心とした半径）は異なります。次の表を参考にマイクを配置してください。

騒音レベル／マイク	40 dBsplA（静かな会議室）	45 dBsplA（通常の会議室）	50 dBsplA（騒がしい会議室）
1台	約3 m	約2.2 m	約1.2 m
2台	約2.8 m	約1.5 m	約1 m
3台	約2.3 m	約1.3 m	—
4台	約2 m	約1.1 m	—

アンプ／アクティブスピーカーの接続

ここではアンプ／アクティブスピーカーの接続のしかたを説明します。

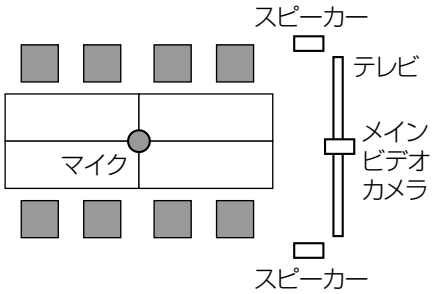


1 ステレオピンプラグケーブルでアンプ／アクティブスピーカーと本体背面の音声出力端子をつないでください。

お知らせ

- 左チャンネル（L）、右チャンネル（R）を確認して、接続してください。
- アンプおよびアクティブスピーカーの詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

配置例：
以下のようにテレビの両側にスピーカーを配置してください。

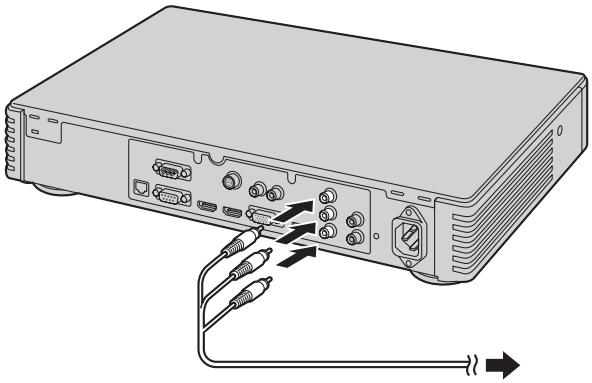


お願い

- テレビの両側にスピーカーを配置してください。会議室の前方にテレビ、後方にスピーカーを配置すると、相手に送る映像に対して音の左右が逆転するため、相手側では、音の左右が映像と一致しなくなります。

コンポーネントケーブルでのテレビの接続

テレビがHDMI端子を持たない場合は、コンポーネントケーブルで接続してください。



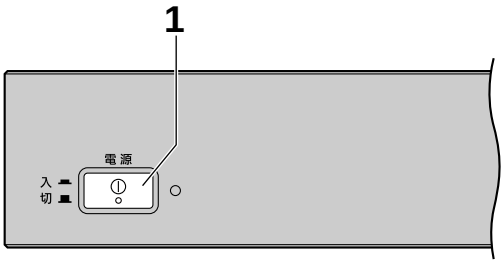
1 コンポーネントケーブルでテレビと本体背面の映像出力端子をつないでください。

電源を入れる／切る

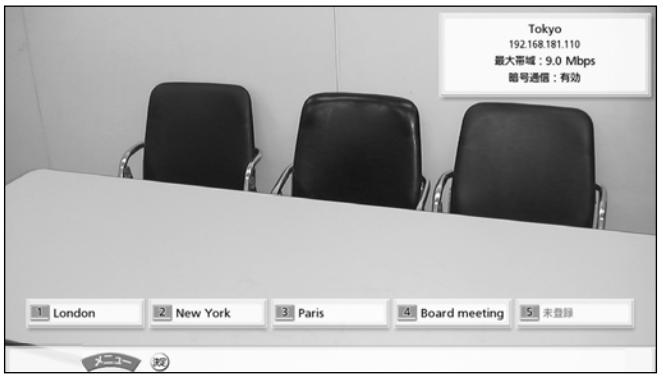
お知らせ

- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。

1 本体前面の**【電源】**を押す



- 電源を入れると、電源ランプと短縮ダイヤルボタンのランプがすべて点灯します。その後、短縮ダイヤルボタンのランプは消灯し、状態ランプが青色にゆっくり点滅してホーム画面が表示されます。

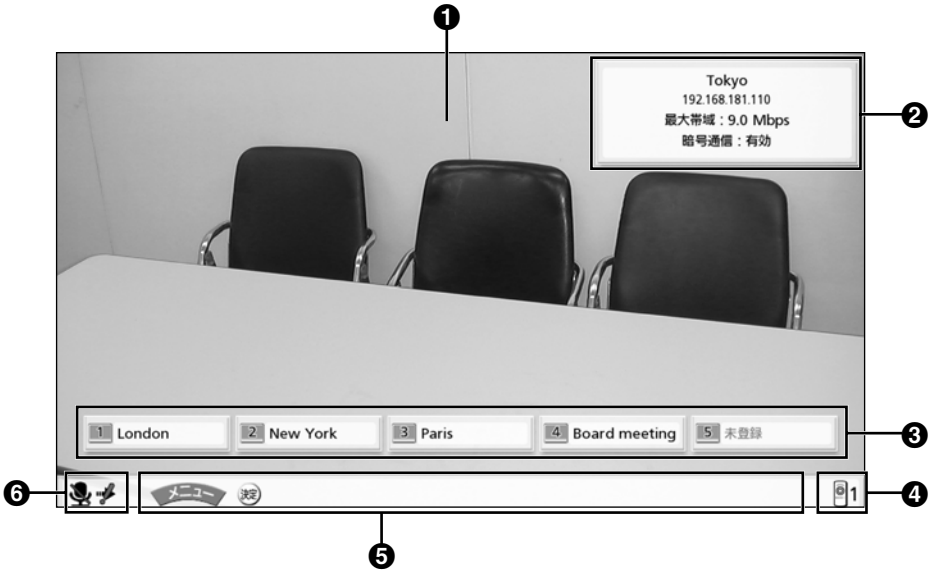


- 電源を切ると、電源ランプが消灯します。

画面の見かた

ホーム画面（待受画面）

電源を入れると表示されます。本体／リモコンの**【ホーム】**を押しても表示されます。



❶ メインビデオカメラ映像エリア
メインビデオカメラの映像を表示します。

❷ 本体情報
本体の名称とIPアドレス、最大帯域および暗号通信の有効／無効を表示します。

お知らせ

- NGNモード使用時（90 ページ）は、本体の名称、電話番号、最大帯域を表示します。
- 発信元選択時（97 ページ）は、選択している発信元の情報（発信元名、IPアドレス、最大帯域および暗号通信の有効／無効）を表示します。

❸ 会議名／拠点名
短縮ダイヤルの1～5に登録されている会議名／拠点名を表示します。会議名／拠点名が画面に収まらない場合は、末尾が"…"に置き換わります。

❹ リモコンID
本体のリモコンIDを表示します（設定時のみ）（85 ページ）。

❺ ガイドエリア
操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

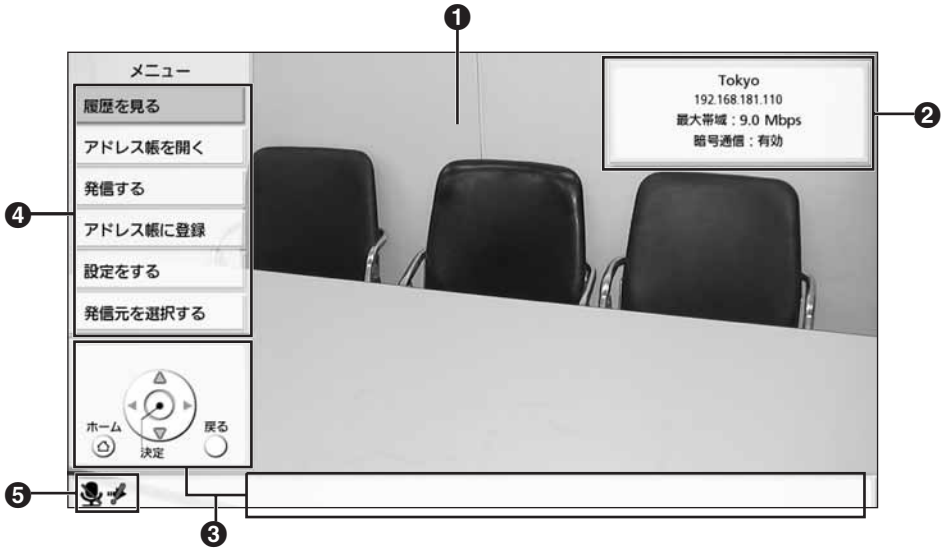
❻ 状況表示エリア
アイコンで本体の状況を表示します。

アイコン	本体の状況
	マイクオフ中

	LANケーブルや周辺機器の接続エラー（未接続・機器の故障など）が発生中 **お知らせ** • システム設定によりマイク検知設定が無効の場合（81 ページ）、専用マイクが未接続でもアイコンは表示されません。LANケーブルなど他の機器が未接続の場合や機器の故障で接続に不具合がある場合は、アイコンが表示されます。

メニュー画面（待受画面）

リモコンの**【メニュー】**を押すと表示されます。機能を実行したり、設定を変更するときに表示します。



❶ メインビデオカメラ映像エリア
メインビデオカメラの映像を表示します。

❷ 本体情報
本体の名称とIPアドレス、最大帯域および暗号通信の有効／無効を表示します。

お知らせ

- NGNモード使用時は、本体の名称、電話番号、最大帯域を表示します。
- 発信元選択時（97 ページ）は、選択している発信元の情報（発信元名、IPアドレス、最大帯域および暗号通信の有効／無効）を表示します。

❸ ガイドエリア
機能の実行時／設定の変更時に、操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

❹ メニュー一覧
さまざまな機能を使用したり、設定を行うためのメニューが表示されます。

❺ 状況表示エリア
アイコンで本体の状況を表示します（27 ページ）。

通信中画面

❶ 相手先情報

標準モード使用時：

- アドレス帳に登録されている場合は、相手先の会議名／拠点名を表示します。
- アドレス帳に登録されていない場合は、相手先のIPアドレスまたはホスト名（www.example.comなど）を表示します。

NGNモード使用時：

- 電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に加入しており、相手から電話番号を通知してきた場合、アドレス帳に登録されているときは、相手先の拠点名を表示します。登録されていないときは、通知してきた電話番号を表示します。
- 電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に未加入の場合や相手から電話番号を通知してこなかった場合は、**「非通知」**と表示されます。

❷ 映像エリア

相手側や自分側の映像、コンテンツ共有時のパソコンの画面やサブビデオカメラの映像を表示します（56 ページ、60 ページ）。

❸ サブ画面

画面レイアウトを変更すると、自分側や相手側の映像を表示します（44 ページ、46 ページ、49 ページ）。

❹ 通信時間

通信時間を表示します。

❺ ガイドエリア

操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

❻ ネットワーク状況アイコン

ネットワークの混み具合をアンテナの数で表示します。アイコンの詳細は以下のとおりです。

アンテナ0本（ ）：ネットワークが非常に混雑している

アンテナ1本（ ）：ネットワークが混雑している

アンテナ2本（ ）：ネットワークがやや混雑している

アンテナ3本（ ）：良好

お知らせ

- アンテナの数が0～1本の状態が続く場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 多地点通信中、アイコンは相手側の映像に対してそれぞれ表示されますが、自分側の映像には表示されません。
- アイコンを表示するかどうかを設定することができます。この設定は表示中の相手側の映像全てに反映されます（81 ページ）。例えば、アイコンを表示する設定にした場合、相手側の映像全てにアイコンが表示されます。アイコンを非表示にする設定にした場合、相手側のどの映像にもアイコンは表示されません。

❼ 状況表示エリア

アイコンで本体の状況を表示します（27 ページ）。

お知らせ

- リモコンの**【表示】**を押すと、相手先情報、通信時間、ネットワーク状況アイコン[*1]、ガイドエリアを表示／非表示にできます。

  [*1] ネットワーク状況アイコンを表示しない設定にしている場合は、**【表示】**を押してもアイコンを表示することはできません。

発信する

通信を開始するには次の発信方法があります。

お知らせ

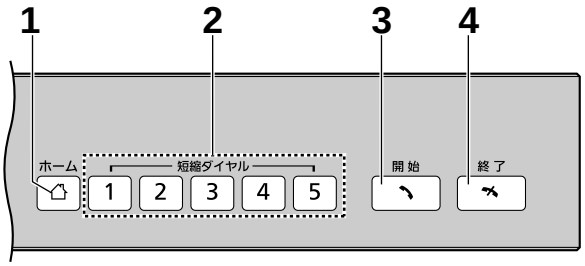
- 通信中は、**【メニュー】**を押してメニュー画面を表示させたり、**【アドレス帳】**を押してアドレス帳画面を表示させることはできません。
- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。
- 発信後、一定時間（約60秒）内に相手から応答がなかった場合、自動的に発信を中止します。
- KX-VC400をご使用の場合、 アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみ3地点、4地点発信することができます（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 2地点、3地点、4地点通信は発信履歴から発信することができます。
- 着信履歴からは2地点通信のみ発信することができます。
- 通信中に通信相手を追加することはできません。
- 3地点、4地点通信中に1地点でも通信を終了すると、残りの通信者間での通信もすべて終了します。
- 応答した地点間のみで通信が開始されます。4地点通信で1地点しか応答しなかった場合は、2地点通信が開始されます。
- 帯域の設定によっては、3地点、4地点通信ができない場合があります（80 ページ、97 ページ）。
- NGNモード使用時または他社接続時は、2地点通信のみ可能です。
- NGNモード使用時は、本機から3桁番号サービス（例：110番、119番）は利用できません。

短縮ダイヤル（2地点通信／3地点通信／4地点通信）で発信する

お知らせ

- 短縮ダイヤルで発信するには、あらかじめアドレス帳の**「短縮ダイヤル」**に番号を登録しておく必要があります（73 ページ）。

ホーム画面から発信する（本体で操作する）



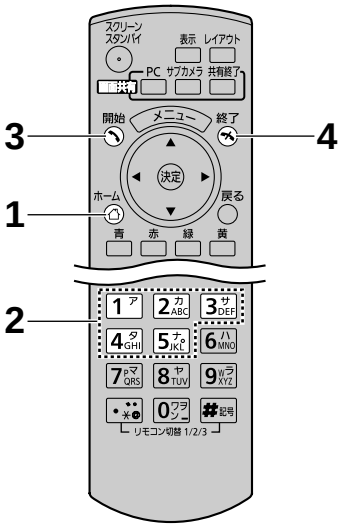
1 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

2 **【短縮ダイヤル】**（1～5）を押す
- 選んだ短縮ダイヤルボタンのランプが点灯します。
- 選んだ短縮ダイヤル番号の登録先情報が表示されます。

3 **【開始】**を押し、通信する

4 通信を終了するときは、**【終了】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

ホーム画面から発信する（リモコンで操作する）



1 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

2 短縮ダイヤル番号（1～5）を押す
- 選んだ短縮ダイヤル番号の登録先情報が表示されます。

3 **【開始】**を押し、通信する
- **【決定】**を押して、通信することもできます。

4 通信を終了するときは、**【終了】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

メニュー画面から発信する（リモコンで操作する）

お知らせ

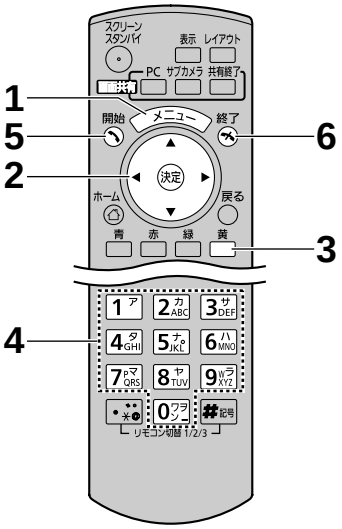
- メニュー画面からの発信は、最大300件の短縮ダイヤル番号（1～300）から相手を選ぶことができます。（ホーム画面からの発信は、最大5件の短縮ダイヤル番号（1～5）から相手を選びます）

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳を開く」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ
- **【緑】**を押すと、アドレス帳修正画面が表示され、編集できます（74 ページ）。

3 **【黄】**を押す
- 短縮ダイヤル画面が表示されます。短縮ダイヤル番号順に表示されます。

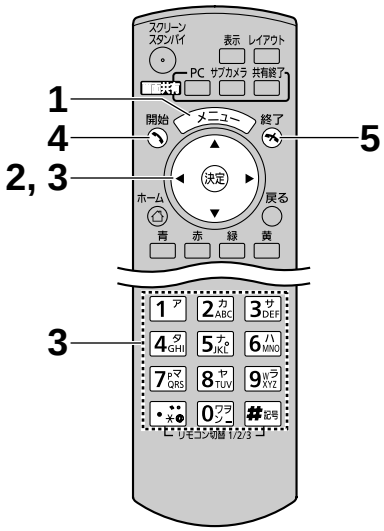


4 短縮ダイヤル番号（1～300）を押す

5 **【開始】**を押し、通信する

6 通信を終了するときは、**【終了】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

アドレス帳（2地点通信／3地点通信／4地点通信）から発信する



1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳を開く」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳画面が表示されます。**「会議名／拠点名」**の50音・アルファベット順に、行ごとのタブで表示されます。

お知らせ

- ホーム画面を表示中に**【アドレス帳】**を押しても、同様にアドレス帳画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で発信したい相手を選ぶ

- **【◀】【▶】**を押すと、前後のタブ（行）に切り替わります。（アドレスが登録されていないタブには切り替わりません。）
- リモコンの数字ボタンを押すと、各ボタンに割り当てられたタブ（行）に切り替わります。

数字ボタン	タブ（行）
1	ア行
2	カ行
3	サ行
4	タ行
5	ナ行
6	ハ行
7	マ行
8	ヤ行
9	ラ行
0	ワ行
*	A-Z
#	他

4 **【開始】**を押し、通信する

5 通信を終了するときは、**【終了】**を押す

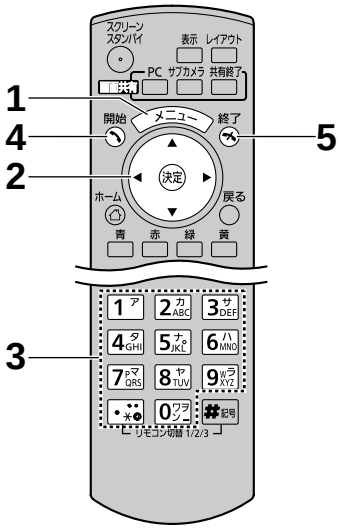
- ホーム画面が表示されます。

IPアドレスや電話番号を入力して発信する

相手先のIPアドレス（標準モード使用時）または電話番号（NGNモード使用時）を入力して発信します。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信する」**を選び、**【決定】**を押す
- 入力画面が表示されます。



お知らせ

- 標準モード使用時は、**【赤】**または**【緑】**を押すと、各ボタンに割り当てられた画面に切り替わり、多地点通信用に複数のIPアドレスを入力できます。各ボタンに表示される画面は、使用中の画面により異なります。

表示	入力画面
1拠点入力	入力画面1（2地点通信）
2拠点入力	入力画面2（3地点通信）
3拠点入力	入力画面3（4地点通信）

例：入力画面1を使用中の場合
【赤】：入力画面2に切り替わります。

【緑】：入力画面3に切り替わります。

- **【開始】**を押す前に、入力画面を切り替えた場合は、入力中のIPアドレスは破棄されます。
- NGNモード使用時、MCU接続時または他社接続時は、3地点通信、4地点通信はできません。
- KX-VC400をご使用の場合、 アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみ2拠点入力、3拠点入力を行うことができます（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

3 IPアドレス（標準モード使用時）または電話番号（最大32桁）（NGNモード使用時）を入力する

- 1桁または2桁の数値を含むIPアドレスを入力する場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001
- 3桁の電話番号を入力することはできません。

お知らせ

- 次の手順で、アドレス帳から相手先のIPアドレス（標準モード使用時）または電話番号（NGNモード使用時）を選んで、入力することができます。

  1. 【青】を押す
  - アドレス帳画面が表示されます。

  2. 【▲】【▼】で相手を選ぶ
  - **【◀】【▶】**、または数字ボタンを押すと、**「ア」**～**「ワ」**、**「A-Z」**、**「他」**から表示するタブ（行）が選べます（34 ページ）。

  3. 【決定】を押す
  - 入力画面が表示されます。

- 通信履歴からIPアドレス（標準モード使用時）または電話番号（NGNモード使用時）を入力することはできません。

4 **【開始】**を押し、通信する
- **【決定】**を押して、通信することもできます。

5 通信を終了するときは、**【終了】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

通信履歴から発信する

通信履歴から相手に発信することができます。通信履歴は発信履歴と着信履歴に分かれます。発信履歴と着信履歴には、発着信の履歴が新しい順に30件まで記憶されています。拠点名またはIPアドレス（またはホスト名）／電話番号[*1]、日時、通信時間、通信結果などの情報が発信履歴、着信履歴にそれぞれ表示されます。通信履歴に記憶されている相手のIPアドレス／電話番号を、アドレス帳から削除または編集した場合は、通信履歴の表示は拠点名ではなくIPアドレス／電話番号になります。

[*1] 通信履歴にIPアドレスまたはホスト名が表示されている場合：標準モード使用時、電話番号が表示されている場合：NGNモード使用時

お知らせ

- 通信履歴にホスト名が表示されている場合は、通信履歴から発信することはできません。

発信履歴：

- 標準モード使用時は、発信履歴から2地点、3地点、4地点通信を発信することができます。

  お知らせ

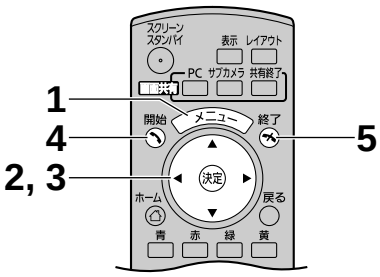
  - KX-VC400をご使用の場合、 アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみ発信履歴から3地点、4地点通信を発信することができます（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- NGNモード使用時または他社接続時は、発信履歴からは2地点通信のみ発信することができます。
- アドレス帳から発信した場合、拠点名が表示されます。IPアドレス／電話番号を直接入力して発信した場合（36 ページ）、IPアドレス／電話番号が表示されます。（入力したIPアドレス／電話番号がアドレス帳に登録されている場合でも、IPアドレス／電話番号が表示されます。）
- 続けて同じ相手に発信した場合は、最新の履歴のみ発信履歴に記憶されます。

着信履歴：

- 2地点通信のみ着信履歴から発信することができます。
- 発信元のIPアドレスがアドレス帳に登録されている場合、拠点名が表示されます。登録されていない場合は、IPアドレスまたはホスト名が表示されます。
- NGNモード使用時は、電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に加入している場合、発信元の電話番号がアドレス帳に登録されているときは、着信履歴には拠点名が表示されます。登録されていないときは、電話番号が表示されます。
- 続けて同じ相手から異常着信（暗号設定不一致など）があった場合は、最新の履歴のみ着信履歴に記憶されます。
- NGNモード使用時は、電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に未加入の場合、着信履歴には**「非通知」**と表示されます。また、加入している場合でも、相手が非通知で発信した場合は、着信履歴には**「非通知」**と表示されます。**「非通知」**と表示されている相手に発信することはできません。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「履歴を見る」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。



お知らせ

- 通信の結果は、**「結果」**に次のとおり表示されます。
  - ○：相手とつながった場合
  - ×：相手とつながらなかった場合
- **【緑】**を押すと、着信履歴画面に切り替わります。**【緑】**を押すたびに、発信履歴画面と着信履歴画面に切り替えることができます。
- 標準モード使用時：
  アドレス帳に登録されていない相手の場合、着信履歴には相手のIPアドレスまたはホスト名が表示されます。
  NGNモード使用時：
  ナンバーディスプレイに加入している場合、電話番号がアドレス帳に登録されていないときは、着信履歴には相手の電話番号が表示されます。加入していない場合や相手が非通知で発信した場合は、**「非通知」**と表示されます。
- 発信履歴には、アドレス帳に登録されている場合は、拠点名が表示されます。IPアドレスや電話番号を直接入力して発信した場合（36 ページ）、アドレス帳に登録されていても、IPアドレスまたは電話番号が表示されます。
- 標準モード使用時は着信履歴の相手をアドレス帳に登録すると、着信履歴が更新され、アドレス帳に登録した拠点名が表示されます。NGNモード使用時はアドレス帳に登録していても電話番号が表示されます。

- アドレス帳に登録されていない相手を選んで**【青】**を押すと、アドレス帳登録画面が表示され、相手を登録することができます（75 ページ）。**「接続先」**にホスト名が表示されている場合は、アドレス帳に相手を登録することはできません。

3 **【▲】【▼】**で発信したい相手を選ぶ

お知らせ

- **【決定】**を押すと、履歴詳細画面が表示されます。

- 発信元を選択していないとき（97 ページ）は、**「発信元選択名」**には何も表示されません。
- **「帯域」**には最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が表示されます。相手とつながらなかった場合は、表示されません。
- 通信相手によっては、**「機器名」**には何も表示されないことがあります。

4 **【開始】**を押し、通信する

5 通信を終了するときは、**【終了】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

着信に応答する

着信に応答する方法として、手動応答と自動応答があり、設定によりどちらかが設定されています（80 ページ）。

お知らせ

- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。

手動応答の場合

着信があると着信音が鳴り、ダイアログボックスが表示されます。

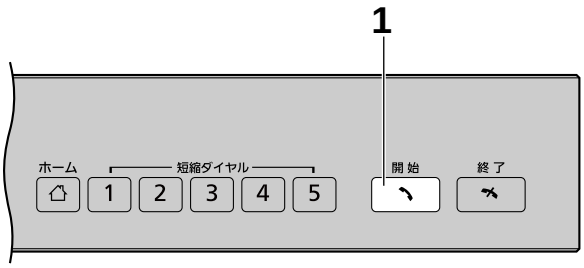
標準モード使用時:
·アドレス帳に登録されている場合は、発信元の会議名／拠点名が表示されます。
·アドレス帳に登録されていない場合は、IPアドレスまたはホスト名が表示されます。

NGNモード使用時:
·ナンバーディスプレイに加入している場合、発信元の電話番号がアドレス帳に登録されているときは、拠点名が表示されます。登録されていないときは、電話番号が表示されます。[*1]
·ナンバーディスプレイに未加入の場合は、**「非通知」**と表示されます。

[*1] ナンバーディスプレイに加入している場合でも、相手が非通知で発信した場合は、**「非通知」**と表示されます。

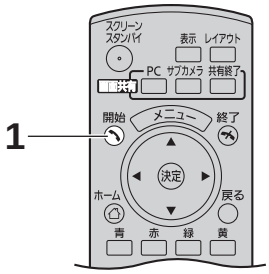
本体で応答する

1 **【開始】**を押す
- 通信が開始されます。



リモコンで応答する

1 **【開始】**を押す
- **【決定】**を押して、応答することもできます。
- 通信が開始されます。



お知らせ

- 着信後、一定時間（約60秒）内に応答をしなかった場合、自動的に切断されます。

自動応答の場合

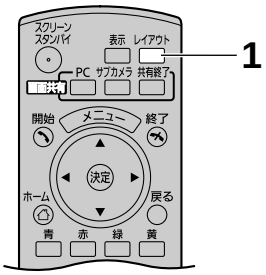
着信があると着信音が一度だけ鳴った後、自動的に応答して通信が開始されます。

2地点通信中の画面レイアウトを変更する

2地点間の通信中に、画面レイアウトを3パターンから選ぶことができます。

1 **【レイアウト】**を押す

- **【レイアウト】**を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：画面全体に相手側の映像
  - **レイアウト2**：画面全体に相手側の映像・右上のサブ画面に自分側の映像
  - **レイアウト3**：画面全体に自分側の映像



お知らせ

- **【青】、【赤】**を押すと、各ボタンに割り当てられた画面レイアウトに直接切り替えることができます。各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

表示	画面レイアウト
相手映像表示	レイアウト1
相手（自映像）	レイアウト2
自映像表示	レイアウト3

例：画面レイアウト2を使用中の場合

【青】：画面レイアウト3に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト1に切り替わります。

- 標準モード使用時に、コンテンツの共有中（56 ページ、60 ページ）は、画面レイアウトの変更はできません。（NGNモード使用時、MCU接続時または他社接続時は、画面レイアウトの変更は可能です。）
- MCU接続または他社接続の場合、相手からの映像が正しい映像横縦比（映像の縦と横の長さの比）で表示されない場合があります。通信中に、次の手順で映像横縦比を変更してください。（変更した映像横縦比は通信が終了すると、**「自動」**［デフォルト］に戻ります。）

  1 **【緑】**を押す
    - 映像横縦比を変更するダイアログボックスが表示されます。

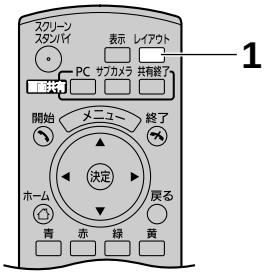
  2 **【▲】【▼】**で**「自動」**（デフォルト）、**「16:9」「4:3」**を選ぶ
    - 選んだ映像横縦比で表示され、約3秒後にダイアログボックスが消えます。

- MCU接続の場合、相手側の映像にはMCUの画面が表示されます。MCUの画面レイアウトを変更する場合は、トーン信号による遠隔操作が必要です（72 ページ）。

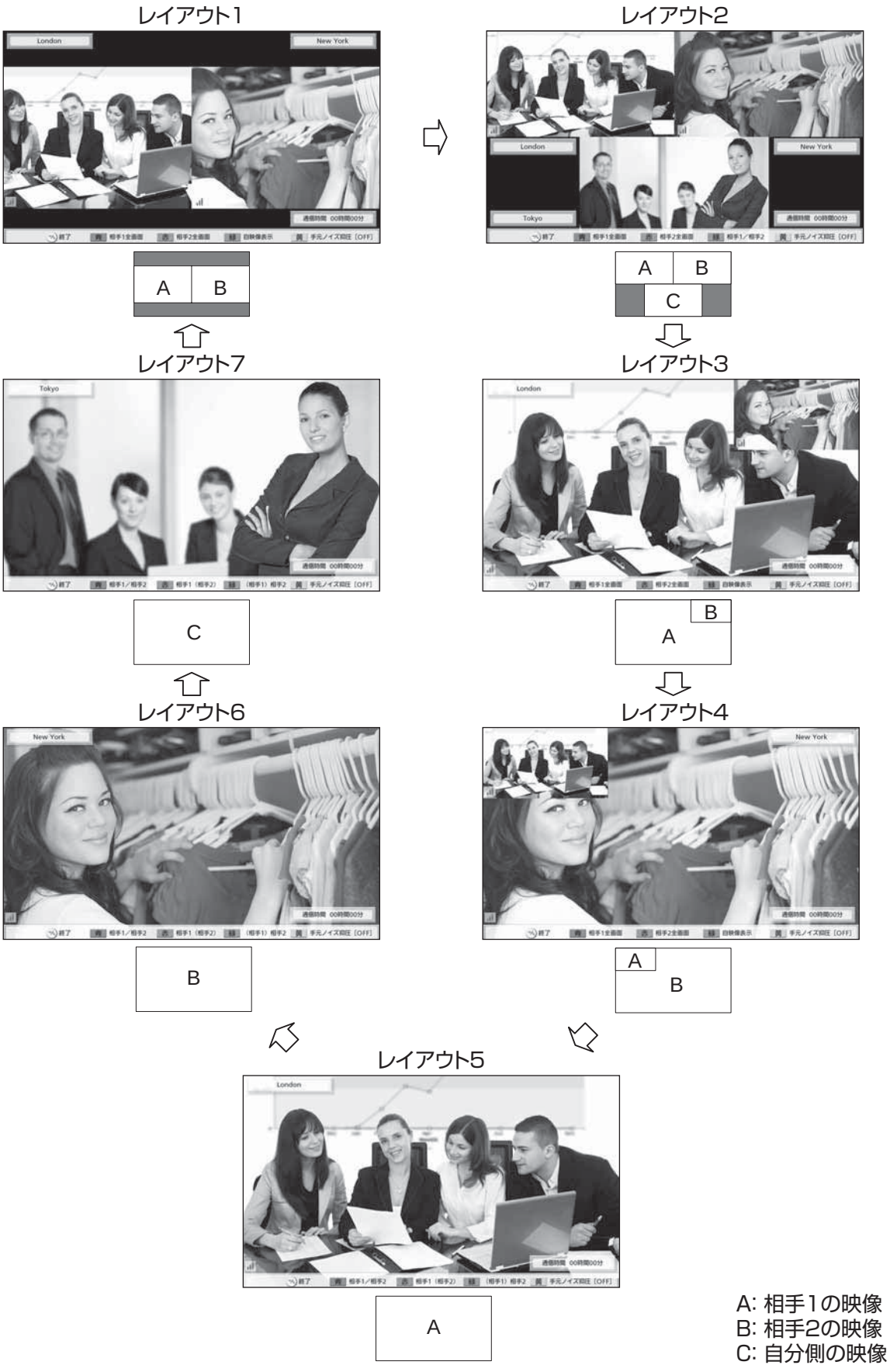
3地点通信中の画面レイアウトを変更する

3地点間（自分、相手1、相手2）の通信中に、画面レイアウトを7パターンから選ぶことができます。（標準モード使用時のみ）

1 **【レイアウト】**を押す



- **【レイアウト】**を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：画面左に相手1の映像・画面右に相手2の映像
  - **レイアウト2**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：右上
    自分側：中央下
  - **レイアウト3**：画面全体に相手1の映像・右上のサブ画面に相手2の映像
  - **レイアウト4**：画面全体に相手2の映像・左上のサブ画面に相手1の映像
  - **レイアウト5**：画面全体に相手1の画像
  - **レイアウト6**：画面全体に相手2の映像
  - **レイアウト7**：画面全体に自分側の映像



A: 相手1の映像
B: 相手2の映像
C: 自分側の映像

お知らせ

- **【青】、【赤】、【緑】**を押すと、画面上の各ボタンに表示されている画面レイアウトに、直接切り替えることができます。[*1] 各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

  [*1] 画面レイアウトの**レイアウト2**へ直接切り替えることはできません。**【レイアウト】**を押すと、**レイアウト2**へ切り替えることができます（46 ページ）。

表示	画面レイアウト
相手１／相手２	レイアウト１
相手１（相手２）	レイアウト３
（相手１）相手２	レイアウト４
相手１全画面	レイアウト５
相手２全画面	レイアウト６
自映像表示	レイアウト７

例：画面レイアウト3を使用中の場合

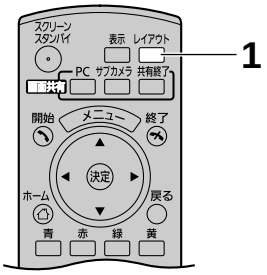
【青】：画面レイアウト5に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト6に切り替わります。
【緑】：画面レイアウト7に切り替わります。

- コンテンツの共有中（56 ページ、60 ページ）は、画面レイアウトの変更はできません。

4地点通信中の画面レイアウトを変更する

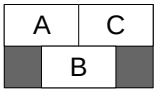
4地点間（自分、相手1、相手2、相手3）の通信中に、画面レイアウトを6パターンから選ぶことができます。（標準モード使用時のみ）

1 **【レイアウト】**を押す

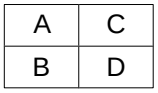


- **【レイアウト】**を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：中央下
    相手3：右上
  - **レイアウト2**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：左下
    相手3：右上
    自分：右下
  - **レイアウト3**：画面全体に相手1の映像
  - **レイアウト4**：画面全体に相手2の映像
  - **レイアウト5**：画面全体に相手3の映像
  - **レイアウト6**：画面全体に自分側の映像

レイアウト1



レイアウト2*1



レイアウト3

A

レイアウト4

B

レイアウト5

C

レイアウト6

D

A: 相手1の映像　　B: 相手2の映像
C: 相手3の映像　　D: 自分側の映像

*1　映像の端が切り取られ、中央部が表示されます。

お知らせ

- **【青】**、**【赤】**、**【緑】**を押すと、画面上の各ボタンに表示されている画面レイアウトに、直接切り替えることができます。各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

表示	画面レイアウト
3 拠点表示	レイアウト 1
4 拠点表示	レイアウト 2
相手 1 全画面	レイアウト 3
相手 2 全画面	レイアウト 4
相手 3 全画面	レイアウト 5
自映像表示	レイアウト 6

例：画面レイアウト3を使用中の場合

【青】：画面レイアウト1に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト2に切り替わります。
【緑】：画面レイアウト6に切り替わります。

- コンテンツの共有中（56 ページ、60 ページ）は、画面レイアウトの変更はできません。

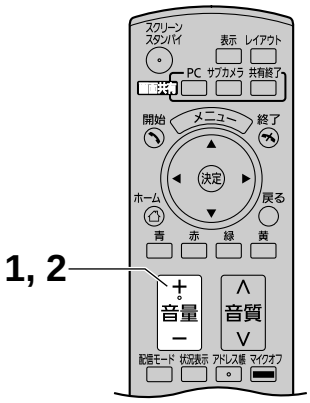
音量を調整する

通信中に音量を調整することができます。

1 **【音量（＋／－）】**を押す
- 音量調整バーが画面下に表示されます。

2 **【音量（＋／－）】**で音量を調整する
- **【＋】**を押すと、相手の声が大きくなります。
- **【－】**を押すと、相手の声が小さくなります。

3 約3秒後、音量調整バーの表示が消える



お知らせ

- 通信開始時の音量を設定することができます（79 ページ）。
- 通信終了後は、設定した通信開始時の音量に戻ります。
- 通信中の音量を調整できます。テレビの音量は調整できません。

マイク音声をマイクオフする

通信中に、自分の声を相手に聞こえないようにすること（マイクオフ）ができます。相手の声は聞こえますが、相手には自分の声は聞こえません。

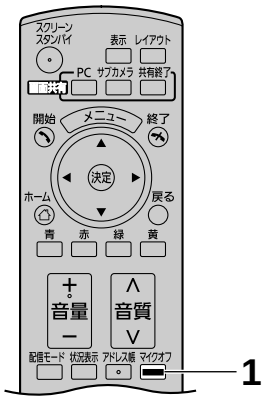
お知らせ

- 応答して通信を開始した時のマイクを、マイクオフにする設定ができます（81 ページ）。

マイクオフする（リモコンで操作する）

1 **【マイクオフ】**を押す

- 画面の状況表示エリアにアイコン（27 ページ）が表示され、専用マイクのランプ（20 ページ）が赤色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。
- もう一度**【マイクオフ】**を押すと、マイクオフは解除されます。専用マイクのランプ（20 ページ）が緑色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。



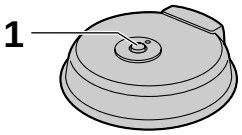
マイクオフする（専用マイクで操作する）

1 マイクオフボタンを押す

- 画面の状況表示エリアにアイコン（27 ページ）が表示され、専用マイクのランプ（20 ページ）が赤色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。
- もう一度マイクオフボタンを押すと、マイクオフは解除されます。専用マイクのランプ（20 ページ）が緑色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。

  お知らせ

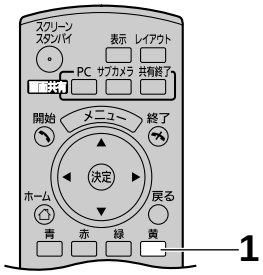
  - 専用マイクを複数接続している場合、ひとつの専用マイクのマイクオフボタンを押すとすべての専用マイクがマイクオフになります。



マイク付近のノイズを減らす

通信中に自分のマイク付近のノイズ（書類をめくる音などの雑音）を減らし、相手に自分の音声を聞きやすくします。音声とノイズが同時にマイクに入った場合は、音声が小さくなることがあります。

1 **【黄】**を押す



- **「手元ノイズ抑圧 [ON]」**が表示され、本機能が有効になります。

- もう一度**【黄】**を押すと**「手元ノイズ抑圧 [OFF]」**が表示され、本機能が無効になります。

お知らせ

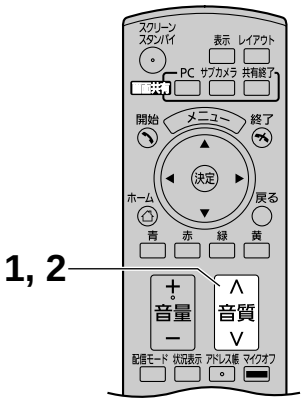
- 通信を開始した時に本機能を有効にするかどうかを、あらかじめ設定することができます（81 ページ）。
- 通信終了後は、本機能は設定した通信開始時の設定に戻ります。

音質を調整する

通信中に音質を調整することができます。

1 **【音質（∧／∨）】**を押す

- 音質調整ダイアログボックスが表示され、現在使用中の音質モードが確認できます。



2 **【音質（∧／∨）】**で音質を選ぶ

- **「高音強調」**：高音を強調します。
- **「標準」**：デフォルトの音質になります。
- **「低音強調」**：低音を強調します。
- **「音声」**：雑音が多い場合、音声を聞き取りやすくします。
- **「音楽」**：音楽などの音声より音域の広い音を聞き取りやすくします。

3 約3秒後、音質調整ダイアログボックスの表示が消える

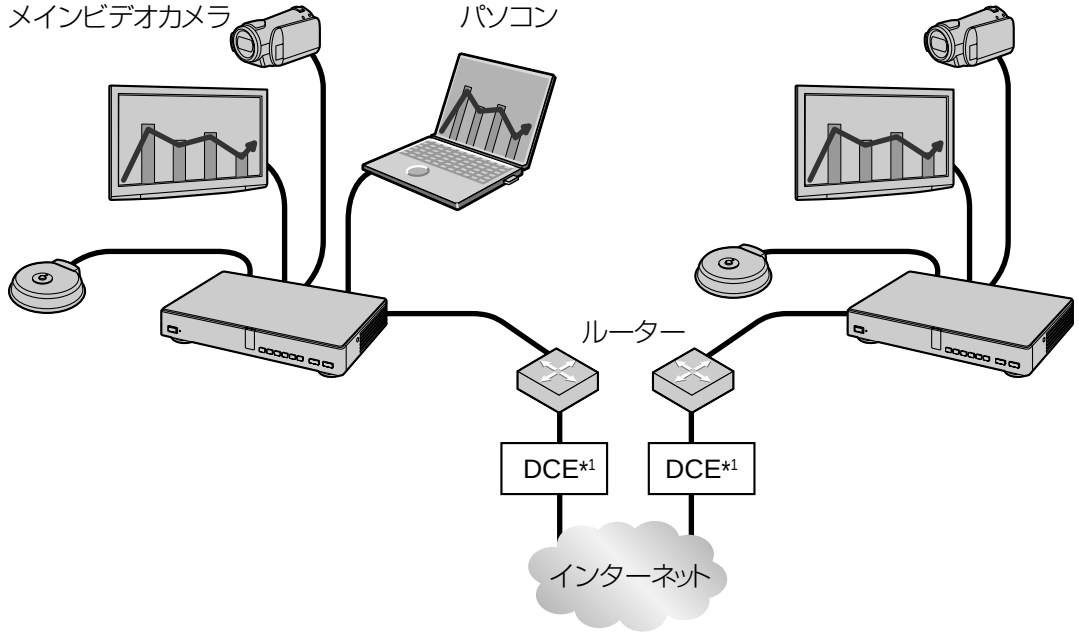
お知らせ

- 通信開始時の音質を設定することができます（79 ページ）。
- 通信終了後は、音質は通信開始時の設定に戻ります。
- MCU接続時または他社接続時の音質は**「標準」**になり、調整することはできません。

パソコンの画面を共有する

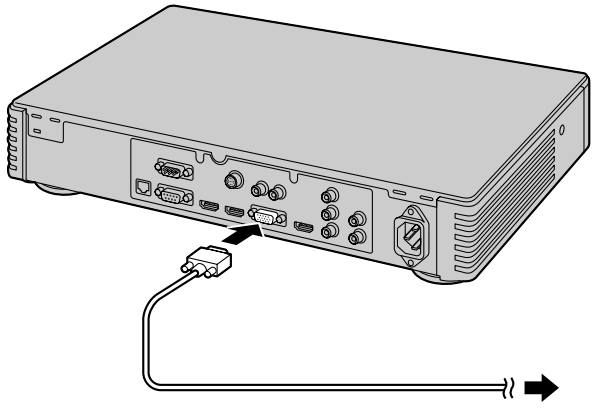
本機にパソコンを接続すると、パソコン画面を自分と相手のテレビに表示させることができます。
パソコン画面を見せながら説明をする場合などに便利です。

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1 DCE：回線終端装置

パソコンを接続する



- お手持ちのパソコンをVGAケーブルで本体背面のPC端子に接続してください（18 ページ）。
- PC端子のコネクタ形状とパソコンのコネクタ形状をそれぞれ確認して、ケーブルを準備してください。
- パソコンは通信中でも接続したり、取り外すことができます。
- 同時に画面を共有できるパソコンは1台のみです。

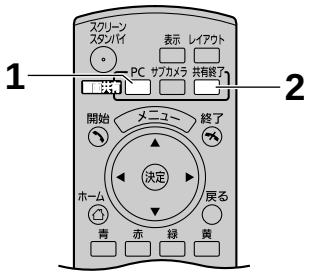
- パソコン画面共有に対応している解像度はVGA（640 × 480）、SVGA（800 × 600）、XGA（1024 × 768）です。
  SXGA（1280 × 1024）には対応していません。対応する解像度の詳細については、以下を参照してください。

解像度	リフレッシュレート（Hz）
VGA	60／72／75／85
SVGA	60／72／75／85
XGA	60／70／75／85

パソコン画面を共有する

通信中に、テレビの表示をメインビデオカメラの映像からパソコン画面に切り替えることができます。

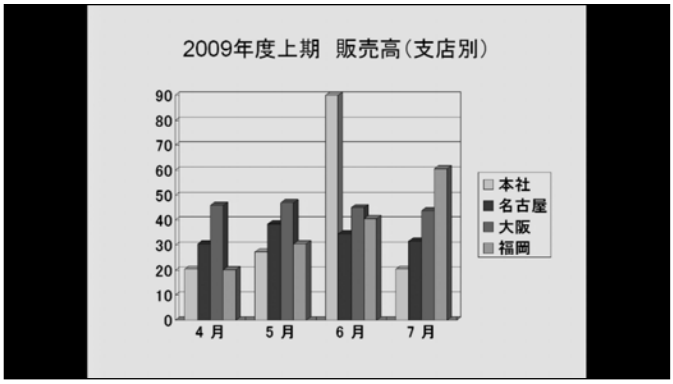
1 **【PC】**を押す



- パソコン画面がテレビに表示されます。相手のテレビにも同じ画面が表示されます。

  お知らせ

  - NGNモード使用時、MCU接続時または他社接続時には、相手の画面レイアウトの状態によっては、相手のテレビに同じ画面が表示されない場合があります。
    NGNモード使用時：
    【レイアウト】を押して、相手側の画面レイアウトを**レイアウト1**に変更するように伝えてください（44 ページ）。
    MCU接続時または他社接続時：
    相手側の画面レイアウトを、こちら側の画面を表示するレイアウトに変更するように伝えてください。
  - MCU接続または他社接続の場合、エラーメッセージが表示され、パソコン画面を共有できないことがあります。**【決定】**を押すと、メインビデオカメラの映像に戻ります。



お知らせ

- リモコンの**【表示】**を押すと、相手先情報、通信時間、ガイドエリアを表示／非表示にできます。
- 標準モード使用時
  - パソコン画面を共有している間は、相手側が**【PC】**を押しても、相手側のパソコン画面には切り替わりません。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、**【サブカメラ】**を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（60 ページ）。**【PC】**を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。**【PC】**を押すと、パソコン画面に戻ります。
  - パソコン画面を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示することができます（44 ページ、46 ページ、49 ページ）。相手側はこの操作はできません。また、パソコン画面を表示しているか相手側の映像を表示しているかは、相手側には分かりません。相手側の映像を表示している間は、画面レイアウトは**レイアウト1**から変更できません。**【青】**を押すと、パソコン画面に戻ります。
- MCU接続時／他社接続時
  - パソコン画面の共有中でも、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できるのでご注意ください。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、**【サブカメラ】**を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（60 ページ）。**【PC】**を押すと、パソコン画面に戻ります。相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できるのでご注意ください。
  - パソコン画面を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（44 ページ）。**【赤】**を押すと、パソコン画面に戻ります。

- NGNモード使用時
  - パソコン画面の共有中でも、相手側が**【PC】**を押すと、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始しますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、**【サブカメラ】**を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（60 ページ）。**【PC】**を押すと、パソコン画面に戻ります。
  - 相手側が**【サブカメラ】**を押すと、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始しますのでご注意ください。
  - パソコン画面を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（44 ページ）。**【赤】**を押すと、パソコン画面に戻ります。

2 メインビデオカメラの映像に戻すときは**【共有終了】**を押す

お知らせ

- **【PC】**を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。

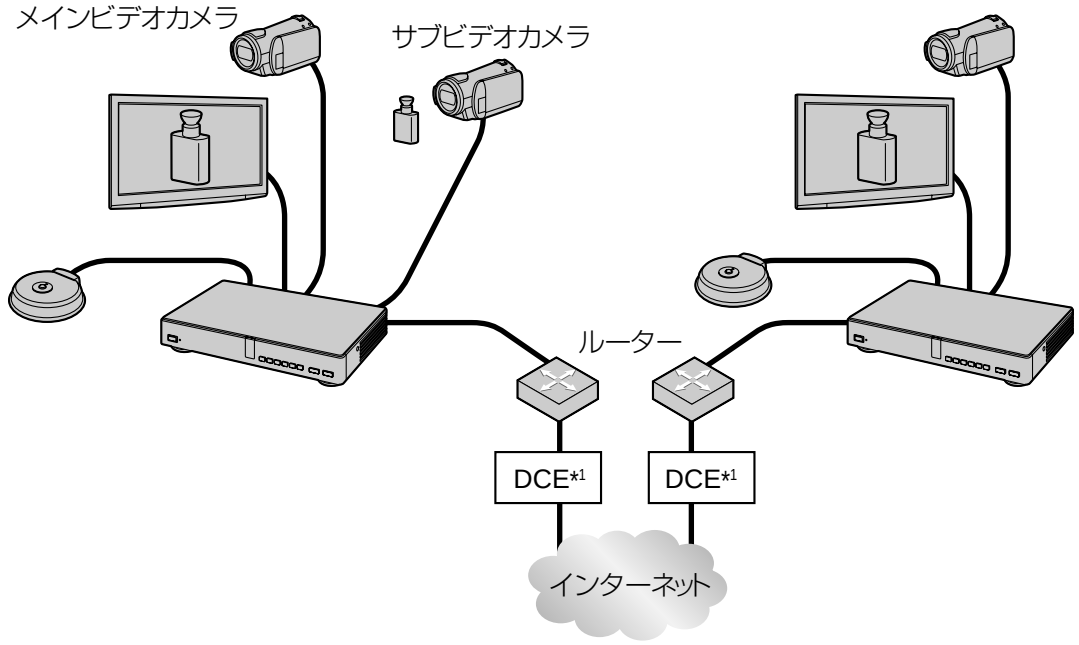
お知らせ

- ホーム画面を表示中に**【PC】**を押すと、自分のテレビにパソコン画面を表示することができます。パソコン画面を表示中は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。ホーム画面に戻るときは、**【共有終了】**を押してください。

サブビデオカメラの映像を共有する

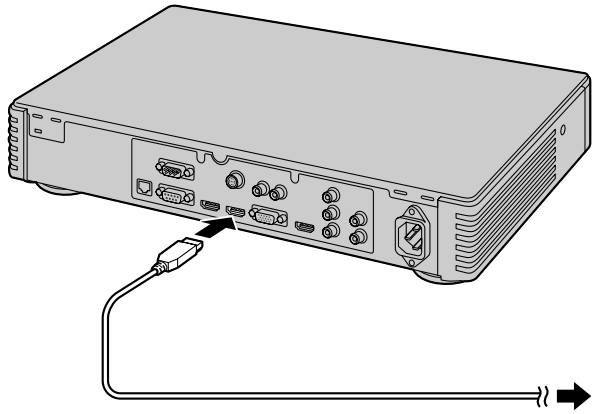
本機にサブビデオカメラを接続すると、サブビデオカメラの映像を自分と相手のテレビに表示させることができます。

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1 DCE：回線終端装置

サブビデオカメラを接続する

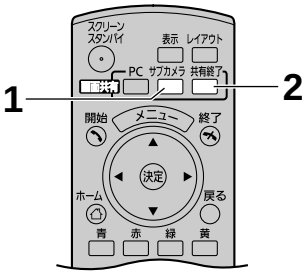


- お手持ちのビデオカメラをHDMIケーブルで本体背面のサブカメラ端子に接続してください（18 ページ）。
- サブビデオカメラは通信中でも接続したり、取り外すことができます。
- 同時に映像を共有できるサブビデオカメラは1台のみです。
- 接続できるビデオカメラは、HDMI出力解像度が1080iのもののみです。

サブビデオカメラの映像を共有する

通信中に、テレビの表示をメインビデオカメラの映像からサブビデオカメラの映像に切り替えることができます。

1 **【サブカメラ】**を押す



- サブビデオカメラの映像が表示されます。相手のテレビにも同じ映像が表示されます。

  お知らせ

  - NGNモード使用時、MCU接続時または他社接続時には、相手の画面レイアウトの状態によっては、相手のテレビに同じ映像が表示されない場合があります。
    NGNモード使用時：
    【レイアウト】を押して、相手側の画面レイアウトを**レイアウト1**に変更するように伝えてください（44 ページ）。
    MCU接続時または他社接続時：
    相手側の画面レイアウトを、こちら側の映像を表示するレイアウトに変更するように伝えてください。

お知らせ

- リモコンの**【表示】**を押すと、相手先情報、通信時間、ガイドエリアを表示／非表示にできます。
- 標準モード使用時
  - サブビデオカメラの映像を共有している間は、相手側が**【サブカメラ】**を押しても、相手側のサブビデオカメラの映像には切り替わりません。
  - パソコンを接続している場合は、**【PC】**を押すとパソコンの画面に切り替わります（56 ページ）。**【サブカメラ】**を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。**【サブカメラ】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示することができます（44 ページ、46 ページ、49 ページ）。相手側はこの操作はできません。また、サブビデオカメラの映像を表示しているか相手側の映像を表示しているかは、相手側には分かりません。相手側の映像を表示している間は、画面レイアウトは**レイアウト1**から変更できません。**【青】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
- MCU接続時／他社接続時
  - サブビデオカメラの映像を共有中でも、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できるのでご注意ください。
  - パソコンを接続している場合は、**【PC】**を押すとパソコン画面に切り替わります（56 ページ）。**【サブカメラ】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できるのでご注意ください。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（44 ページ）。**【赤】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。

- NGNモード使用時
  - サブビデオカメラの映像を共有中でも、相手側が**【サブカメラ】**を押すと、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始しますのでご注意ください。
  - パソコンを接続している場合は、**【PC】**を押すとパソコン画面に切り替わります（56 ページ）。**【サブカメラ】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
  - 相手側が**【PC】**を押すと、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始しますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に**【青】**を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（44 ページ）。**【赤】**を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。

2 メインビデオカメラの映像に戻すときは**【共有終了】**を押す

お知らせ

- **【サブカメラ】**を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。

お知らせ

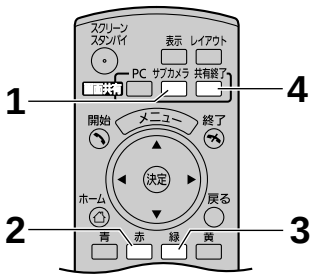
- ホーム画面を表示中に**【サブカメラ】**を押すと、自分のテレビにサブビデオカメラの映像を表示することができます。サブビデオカメラの映像を表示中は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。ホーム画面に戻るときは、**【共有終了】**を押してください。

サブビデオカメラの静止画を共有する

通信中に、サブビデオカメラの静止画を表示することができます。

お知らせ

- 画像がぶれないように、サブビデオカメラと被写体を動かさないようにしてください。
- NGNモード使用時、MCU接続時または他社接続時は、この操作はできません。



1 **【サブカメラ】**を押す
   - サブビデオカメラの映像が表示されます。

2 **【赤】**を押す
   - サブビデオカメラの静止画が自分と相手のテレビに表示されます。

   お知らせ
   - 黒い画面が約1秒間表示された後、次第に画像が鮮明になります。
   - 静止画を送信中に**【赤】**を押すと、押した時点の画像が再度相手のテレビに送信されます。
   - 低帯域のネットワークまたはパケットロスが多いネットワークの場合、鮮明な画像が表示されるのに時間がかかったり、ぶれた画像が表示されたりします。

3 **【緑】**を押す
   - 静止画から通常のサブビデオカメラの映像に戻ります。

   お知らせ
   - **【緑】**を押した後、黒い画面が約1秒間表示されます。

4 **【共有終了】**を押す
   - メインビデオカメラの映像に戻ります。

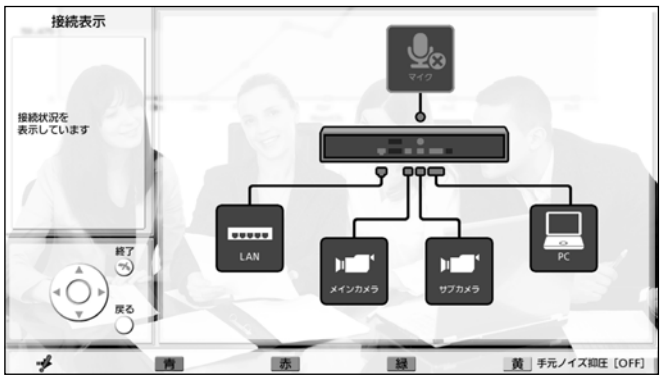
接続状況を表示する

ネットワークや周辺機器の接続状況を確認することができます。

1 **【状況表示】**を押す

- 接続表示画面が表示されます。接続や接続機器に不具合がある箇所、または接続されていない機器がある箇所には**「X」**のマークが表示されます。

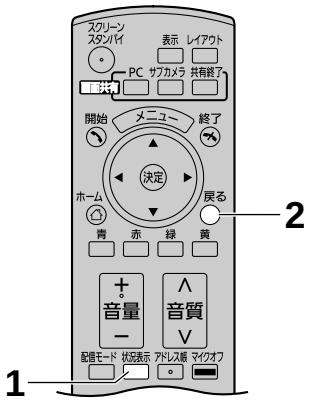
例：専用マイクの接続に不具合がある場合



- **「マイク」**は専用マイクの接続状況が表示されます。汎用マイクの接続状況は表示されません。
- 設定によりマイク検知設定を無効にしている場合、専用マイクの接続状況は表示されません（81 ページ）。

2 **【戻る】**を押す

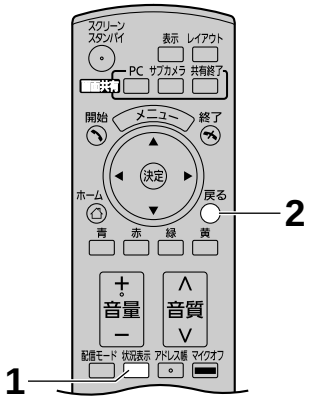
- 接続表示画面を表示させる前の画面に戻ります。



機器情報を表示する

1 **【状況表示】**を2回押す

- 機器情報表示画面が表示されます。



- **「暗号通信」**には暗号通信の有効／無効、**「解像度(送信)」**には映像送信時の解像度が表示されます。通信していない場合はいずれも表示されません。[*1]

[*1] NGNモード使用時は、**「電話番号」**、**「DNSサーバー」**、**「SIPドメイン名」**が表示され、**「暗号通信」**は表示されません。

- ソフトウェアの拡張（94 ページ）により有効になっている機能が**「バージョン情報」**に表示されます。詳細は次のとおりです。
  「(VC500UP)」：多地点発信機能が有効になっています（KX-VC400のみ）
  「(CE)」：MCU接続／他社接続機能が有効になっています

- 通信中にこの操作を行った場合、**【赤】**を押して次の画面に切り替えることができます。**「接続先1」**、**「接続先2」**、**「接続先3」**には通信中の相手の機器名、IPアドレス、パケットロス率、帯域、解像度、フレームレート、動作周波数がそれぞれ表示されます。*2*3*4

  *2 NGNモード使用時は、**「アドレス」**は表示されず、**「電話番号」**が表示されます。

  *3 MCU接続時または他社接続時は、**「動作周波数」**は表示されません。

  *4 通信相手によっては、**「機器名」**には何も表示されないことがあります。

2 **【戻る】**を押す

- 手順1を行う前の画面に戻ります。

拡張機能を有効にする

アクティベーションキーについて

別売のアクティベーションキーカードを購入し必要な設定を行うことで（94 ページ）、以下の機能の拡張が可能です。

品番	商品名	内容
KX-VCS101	AV通信プロトコル拡張	MCU接続／他社接続機能を有効にします（KX-VC400、KX-VC500）
KX-VCS201	VC500アップグレード	KX-VC500同等機能（多地点発信機能）を有効にします（KX-VC400のみ）

お知らせ

- KX-VC400をご使用の場合、KX-VCS101により機能を有効にするためには、あらかじめKX-VCS201により機能を有効にしておく必要があります。
- 一度ソフトウェアの拡張（94 ページ）により有効にした機能は、ソフトウェアを更新した後も、本機を初期化した後も有効です。
- 一度のソフトウェアの拡張（94 ページ）で有効にできる機能は一つです。複数の機能を有効にしたい場合は続けてソフトウェアの拡張を行ってください。ソフトウェアの拡張毎に再起動が必要になります。
- 本体交換などでハードウェアが変わった場合は、Registration Key（レジストレーションキー）を再取得して再度機能を有効にする必要があります。この場合、Registration Key（レジストレーションキー）の再取得は無料です。

多地点発信を有効にする（KX-VC400のみ）

KX-VC400をご使用の場合、デフォルトでは3地点、4地点発信を利用できませんが、アクティベーションキー（KX-VCS201）によって機能を拡張することでKX-VC500同様、KX-VC400でも3地点、4地点発信が可能になります（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

他社接続を有効にする

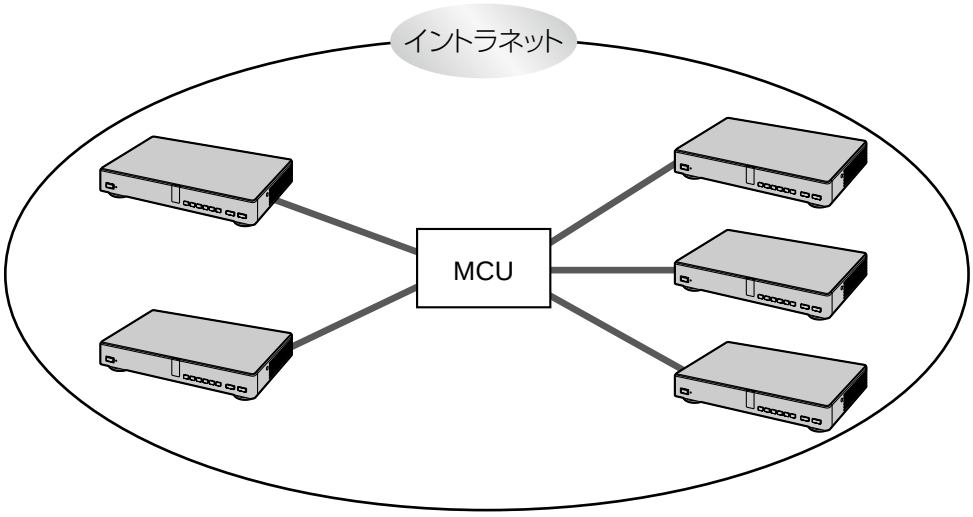
他社製のテレビ会議システムと接続し、2地点でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

お知らせ

- 他社接続を行うためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS101）を購入し、あらかじめ機能を有効にする必要があります（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- KX-VC400をご使用の場合、アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみこの機能を有効にすることができます。
- 接続する他社製テレビ会議システムは次の条件を満たしている必要があります。他社製テレビ会議システムの設定をご確認ください。
  - SIPでの通信が可能である
  - H.264 Baseline Profile（ベースラインプロファイル）での通信が可能である
  - 音声コーデックG.722での通信が可能である
- 接続が可能な他社製テレビ会議システムの機種については、販売店にお問い合わせください。
- 接続仕様（解像度など）や利用できる機能（コンテンツ共有など）は、接続する機種によって異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 他社接続時は、2地点通信のみ可能です。
- 通信中に、音質を調整することはできません。
- 相手側に送る音声はモノラルになります。
- サブビデオカメラの映像を共有中に、サブビデオカメラの静止画を送信することはできません。
- 暗号通信はできません。他社接続の場合は、双方ともに暗号通信の設定を無効にする必要があります（80 ページ、89 ページ、97 ページ）。
- 他社接続の場合、暗号通信ができないためイントラネット回線またはVPNをご利用ください。
- 他社製のテレビ会議システムと通信中は、通信開始時に設定した最大帯域が適用されます。ネットワークの状態に応じて、適切な帯域を設定する必要があります（80 ページ、97 ページ）。
- 接続する他社製テレビ会議システムによっては、こちら側で最大帯域の設定が必要な場合があります。このような場合、発信元設定で最大帯域を登録することができます（97 ページ）。

MCU接続を有効にする

MCUに接続することで、5拠点以上の多地点間でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

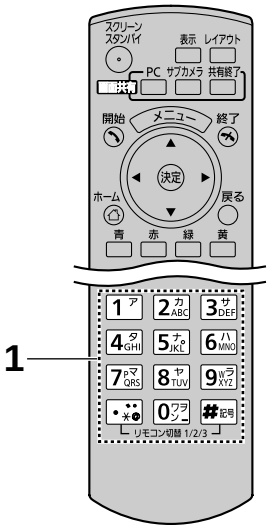


お知らせ

- MCU接続を行うためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS101）を購入し、あらかじめ機能を有効にする必要があります（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- KX-VC400をご使用の場合、アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみこの機能を有効にすることができます。
- 接続するMCUは次の条件を満たしている必要があります。MCUの設定をご確認ください。
  - SIPでの通信が可能である
  - H.264 Baseline Profile（ベースラインプロファイル）での通信が可能である
  - 音声コーデックG.722での通信が可能である
- 接続が可能なMCUの機種については、販売店にお問い合わせください。
- 接続仕様（解像度など）や利用できる機能（コンテンツ共有など）は、接続する機種によって異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- MCU接続を行う操作手順は、接続するMCUにより異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 通信中に、音質を調整することはできません。
- 相手側に送る音声はモノラルになります。
- サブビデオカメラの映像を共有中に、サブビデオカメラの静止画を送信することはできません。
- 暗号通信はできません。MCUと接続する場合は、双方ともに暗号通信の設定を無効にする必要があります（80 ページ、89 ページ、97 ページ）。
- MCU接続の場合、暗号通信ができないためイントラネット回線またはVPNをご利用ください。
- MCUと通信中は、通信開始時に設定した最大帯域が適用されます。ネットワークの状態に応じて、適切な帯域を設定する必要があります（80 ページ、97 ページ）。

トーン信号でMCUを遠隔操作する

MCUと通信中にリモコンのボタン（0-9、#、*）を押すと、トーン信号を送信することができます。トーン信号を送信することで、MCUの遠隔操作（例：画面レイアウトの変更）を行うことができます。



お知らせ

- MCUと通信中にのみ、トーン信号を送信することができます。パナソニック製HD映像コミュニケーションユニット同士の通信中は、対応しておりません。
- 遠隔操作できる機能や操作手順は、接続するMCUにより異なります。
- 接続するMCUがトーン信号を受信できない場合は、エラーメッセージが表示され、トーン信号を送信しません。
- 相手側がトーン信号を送信してきた場合、音切れが発生したり、音が鳴ったりすることがあります。

1　トーン信号（0-9、#、*）を入力する

- 入力欄（❶）が表示されます。

お知らせ

- 入力欄に表示されるトーン信号は最大16桁までです。例えば、17桁目を入力した場合、最初に入力した1桁目が非表示になり、2桁目から17桁目までが表示されます。
- トーン信号が入力されていないときは、入力欄は表示されません。
- 最後に入力してから約3秒間、トーン信号が入力されない場合は、入力欄は消えます。
- 入力欄が消えたあと、再度トーン信号を入力した場合は、前回入力したトーン信号のつづきから表示されます。

アドレス帳に登録する

アドレス帳には相手先を最大300件まで登録することができます。

お知らせ

- 入力中に着信があると、応答するかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  【◀】【▶】で、**「はい」**、**「いいえ」**を選び、**【決定】**を押す
  - **「はい」**を選ぶと着信に応答し、入力中の内容は反映されず、破棄されます。
  - **「いいえ」**を選ぶと、入力を続けることができます。

新規に登録する

1地点を登録する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳に登録」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

標準モード使用時

「会議名／拠点名」：拠点名（最大24文字）を入力する（100 ページ）

「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（**1～300**）を入力する

「多地点会議」：**【◀】【▶】**で**「しない」**を選ぶ

「アドレス」：IPアドレスを入力する

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

NGNモード使用時

「拠点名」：拠点名（最大24文字）を入力する

「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（**1～300**）を入力する

「電話番号」：電話番号（最大32桁）を入力する

- 3桁の電話番号を入力することはできません。

4 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して登録したい場合は、**【青】**を押して、手順**3**～**5**をくり返してください。

6 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

多地点を登録する

お知らせ

- NGNモード使用時は、多地点を登録することはできません。
- KX-VC400をご使用の場合、 アクティベーションキー（KX-VCS201）により KX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみ多地点を登録することができます

（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳に登録」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する
「会議名／拠点名」：会議名（最大24文字）を入力する（100 ページ）
「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号を入力する（**1～300**）
「多地点会議」：**【◀】【▶】**で**「2拠点」**、**「3拠点」**を選ぶ
「拠点名1」／**「拠点名2」**／**「拠点名3」**：次の手順でアドレス帳画面から選ぶ

1 **【▲】【▼】**で**「拠点名1」**／**「拠点名2」**／**「拠点名3」**を選ぶ

2 **【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で相手を選ぶ
- **【◀】【▶】**、または数字ボタンを押すと、**「ア」**～**「ワ」**、**「A-Z」**、**「他」**から表示するタブ（行）が選べます（34 ページ）。

4 **【決定】**を押す
- アドレス帳登録画面が表示されます。

4 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ
- 連続して登録したい場合は、**【青】**を押して、手順**3**～**5**をくり返してください。

6 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

登録内容を編集する

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳を開く」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で編集したい相手を選ぶ
- **【◀】【▶】**、または数字ボタンを押すと、**「ア」**～**「ワ」**、**「A-Z」**、**「他」**から表示するタブ（行）が選べます（34 ページ）。

4 **【決定】**を押す
- アドレス帳詳細画面が表示されます。

5 **【緑】**を押す

- アドレス帳修正画面が表示されます。

6 **【▲】【▼】**で編集したい項目を選び、編集する（100 ページ）

お知らせ

- 1地点を編集する場合、**「多地点会議」**を編集することはできません。
- 多地点を編集する場合、**「多地点会議」**、**「アドレス」**を編集することはできません。

7 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

8 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

9 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

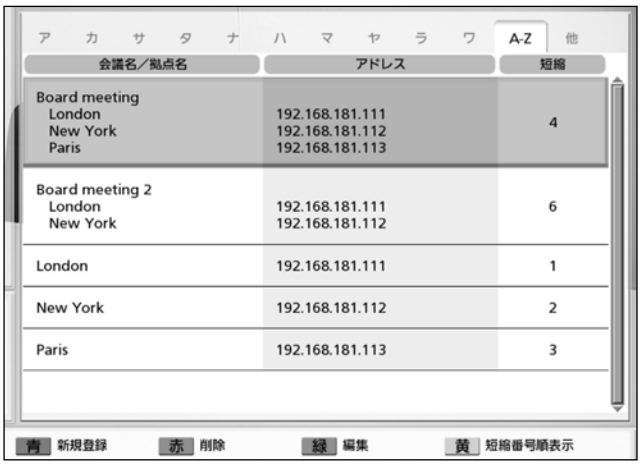
登録を削除する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳を開く」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳画面が表示されます。



3 **【▲】【▼】**で削除したい登録先を選ぶ

- **【◀】【▶】**、または数字ボタンを押すと、**「ア」**～**「ワ」**、**「A-Z」**、**「他」**から表示するタブ（行）が選べます（34 ページ）。

4 **【赤】**を押す

- 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

6 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

履歴から登録する

1地点を登録する

発着信履歴から相手先をアドレス帳に登録することができます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、着信履歴に**「非通知」**と表示されている場合、アドレス帳に登録することはできません。

- 通信履歴の**「接続先」**にホスト名が表示されている場合、アドレス帳に登録することはできません。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「履歴を見る」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。

お知らせ
- **【緑】**を押すと、着信履歴を表示することができます。

3 **【▲】【▼】**で登録したい1地点の履歴を選び、**【青】**を押す
- アドレス帳登録画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で必要な項目を選び、入力する（100 ページ）

お知らせ
- **「多地点会議」**、**「アドレス」**を編集することはできません。

5 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。手順2で表示した画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

多地点を登録する

発信履歴から多地点をアドレス帳に登録することができます。

お知らせ
- 履歴から多地点をアドレス帳に登録すると、各地点がそれぞれ自動的に1地点として登録され、**「会議名／拠点名」**にはIPアドレスが登録されます。
- NGNモード使用時は、多地点を登録することはできません。
- 通信履歴の**「接続先」**にホスト名が表示されている場合、アドレス帳に登録することはできません。
- KX-VC400をご使用の場合、 アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみ多地点を登録することができます（94 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「履歴を見る」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で登録したい多地点の履歴を選び、**【青】**を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で必要な項目を選び、入力する（100 ページ）

お知らせ

- **「多地点会議」**、**「アドレス」**を編集することはできません。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 履歴一覧画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

システムの設定をする

お知らせ

- 入力中に着信があると、入力中の内容は反映されず、破棄されます。

機器名称を設定する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「機器の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 機器名称の設定画面が表示されます。

4 機器名称（最大24文字）を入力する（100 ページ）

お知らせ

- ＆ ＜ ＞ , ” ’ を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては保存に時間がかかる場合があります。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

日時を設定する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「日時の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 日時の設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で項目を選び、情報を入力する

- 西暦（4桁）、月（1～2桁）、日（1～2桁）、時刻（24時間表示）を入力し、日付表示形式（月／日／年、日／月／年、年／月／日）、時間表示（12時間／24時間）を選択してください。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

ネットワークの設定をする

お知らせ

- NGNモード使用時は、自動的にネットワーク設定が行われるため、この設定を行うことはできません。

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「ネットワークの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- ネットワークの設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で設定したい項目を選び、入力する

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

音の設定をする

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「音の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 音設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する
「起動音量」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で起動時の音量レベル（**「小」**、**「中」**［デフォルト］、**「大」**）を選ぶ
「発信音量」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で発信音の音量レベル（**「小」**、**「中」**［デフォルト］、**「大」**）を選ぶ

お知らせ

- 話し中の音の音量レベルは、発信音の音量と同じになります。

「着信音量」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で着信音の音量レベル（**「小」**、**「中」**［デフォルト］、**「大」**）を選ぶ
「通信開始時の音量」：**【◀】【▶】**で通信開始時の音量レベル（**0**～**20**）を選ぶ（デフォルト：**16**）
「通信開始時の音質」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で通信開始時の音質（**「高音強調」**、**「標準」**［デフォルト］、**「低音強調」**、**「音声」**、**「音楽」**）を選ぶ
（55 ページ）

お知らせ

- **【赤】**を押すと以下の項目を試聴することができます。
  - **「起動音量」**
  - **「発信音量」**
  - **「着信音量」**

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

通信の設定をする

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「通信の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 通信設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

- 項目は2画面に渡って表示されます。**【赤】**を押すと次の画面へ、**【青】**を押すと前の画面へ移動し、全ての項目を表示することができます。
- 画面を移動する前に、変更した設定内容を保存する必要があります。

「着信時の応答方法」：**【◀】【▶】**で着信方法（**「手動応答」**[デフォルト]、**「自動応答」**）を選ぶ（42 ページ）

「最大帯域」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で最大帯域（**512 kbps**、**768 kbps**、**1.0 Mbps**、**1.2 Mbps**、**2.0 Mbps**、**3.0 Mbps**、**4.0 Mbps**、**5.0 Mbps**、**6.0 Mbps**、**7.0 Mbps**、**8.0 Mbps**、**9.0 Mbps**［デフォルト］、**10.0 Mbps**）を選ぶ

お知らせ

- 標準モード使用時の通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- NGNモード使用時の通信中は、発信側の最大帯域が適用されます。
- 販売店により設定された最大帯域より大きい値を設定することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 3地点通信を行う場合は、**「1.0 Mbps」**以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- 4地点通信を行う場合は、**「2.0 Mbps」**以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- NGNモード使用時は、ご契約タイプにより利用可能な帯域が異なります。利用可能な帯域をご確認のうえ、設定を行ってください。
- NGNモード使用時は、ご利用帯域により料金が異なります。料金をご確認のうえ、設定を行ってください。

「暗号通信」（標準モード使用時のみ）：**【◀】【▶】**で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**：暗号通信を有効にします。
– **「無効」**（デフォルト）：暗号通信を無効にします。

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- **「暗号通信」**の設定ができない場合は、ネットワーク管理者にご連絡ください。
- MCU接続または他社接続の場合、暗号通信はできません。双方ともに暗号通信の設定を無効にする必要があります。

「最大解像度」：**【◀】【▶】**で通信中のメインビデオカメラとサブビデオカメラの最大解像度を選ぶ

– **「フルHD」**：最大解像度： 1920 × 1080i（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）
– **「HD」**：最大解像度： 1280 × 720p（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）

– **「自動」**（デフォルト）：利用可能な帯域に基づいて、**「フルHD」**または**「HD」**を選びます。

お知らせ

- 推奨設定値は**「自動」**または**「HD」**です。
- **「フルHD」**を設定し、帯域が低い通信相手と通信を行った場合、**「HD」**または**「自動」**を設定した場合よりも、低い解像度になる可能性があります。
- 動作周波数が通信者間で異なる場合、**「フルHD」**に設定していても、最大解像度は**「HD」**になります。
- 3地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- 4地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラとサブビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。

「着信時のマイクオフ」：**【◀】【▶】**で応答して通信を開始した時のマイクを、マイクオフするかどうかを選ぶ

– **「する」**：マイクをマイクオフします。

– **「しない」**（デフォルト）：マイクをマイクオフしません。

「通信開始時のガイド表示」：**【◀】【▶】**で通信開始時のガイドエリアを表示をするかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：ガイドエリアを表示します。

– **「しない」**：ガイドエリアを非表示にします。

「通信開始時の手元ノイズ抑圧」：**【◀】【▶】**で通信開始時のノイズ抑圧機能を有効にするかどうかを選ぶ

– **「ON」**：ノイズ抑圧機能を有効にします。

– **「OFF」**（デフォルト）：ノイズ抑圧機能を無効にします。

「最長通信時間」：1回の通信で、連続通信できる最長時間（時間・分）を入力する

お知らせ

- 0時間0分（デフォルト）に設定すると、通信時間に制限はありません。
- 設定した通信時間が経過すると、自動的に通信が切断されます。

「専用マイク状態表示」：**【◀】【▶】**で専用マイクの接続状況検知を有効にするかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：専用マイクの検知を有効にします。

– **「しない」**：専用マイクの検知を無効にします。

お知らせ

- 専用マイクを使用していないときは、**「しない」**に設定してください。

「ネットワーク状況アイコン表示」：**【◀】【▶】**でネットワーク状況アイコンを表示するかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：ネットワーク状況アイコンを表示します。

– **「しない」**：ネットワーク状況アイコンを非表示にします。

「静止画送信時の解像度」（標準モード使用時のみ）：**【◀】【▶】**でサブビデオカメラから静止画を送信するときの解像度を選ぶ

– **「フルHD」**（デフォルト）：静止画の解像度はフルHDになります。

– **「HD」**：静止画の解像度はHDになります。

お知らせ

- 低帯域のネットワークまたはパケットロスが多いネットワークの場合、**「HD」**を推奨します。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 動作周波数が通信者間で異なる場合、**「フルHD」**に設定していても、解像度は**「HD」**になります。
- 4地点通信中は**「フルHD」**に設定していても、解像度は**「HD」**になります。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては保存に時間がかかる場合があります。

7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

機器情報を表示する

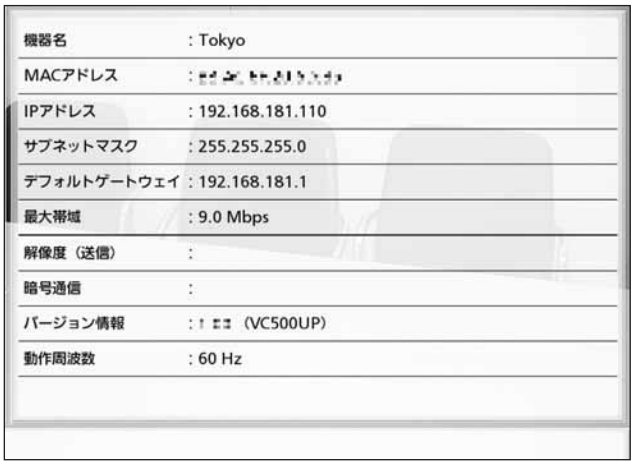
本機の設定情報を表示することができます。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「機器情報の表示」**を選び、**【決定】**を押す
- 機器情報表示画面が表示されます（66 ページ）。



5 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

マイク位置の設定をする

テレビから見た、専用マイクの集音位置を設定することができます。音声が通信相手に送信されると、設定した集音位置に基づいたステレオ音声で相手に聞こえます。

マイク位置を自動で設定する

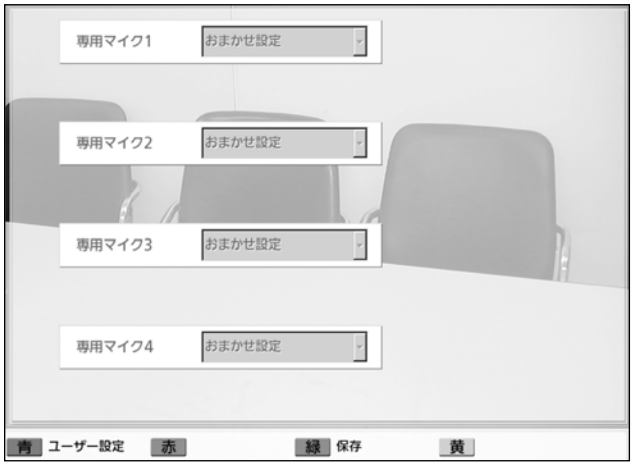
1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「マイク位置の設定」**を選び、**【決定】**を押す
- おまかせ設定画面が表示されます。

お知らせ
- ユーザー設定画面が表示されている場合、**【青】**を押して、おまかせ設定画面に切り替えてください。



5 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- 接続する専用マイクの台数により、専用マイクの出力は次のとおり異なります。
  - 2台以上の専用マイクを接続した場合：モノラル
  - 1台の専用マイクを接続した場合：ステレオ

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

マイク位置を手動で設定する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「マイク位置の設定」**を選び、**【決定】**を押す

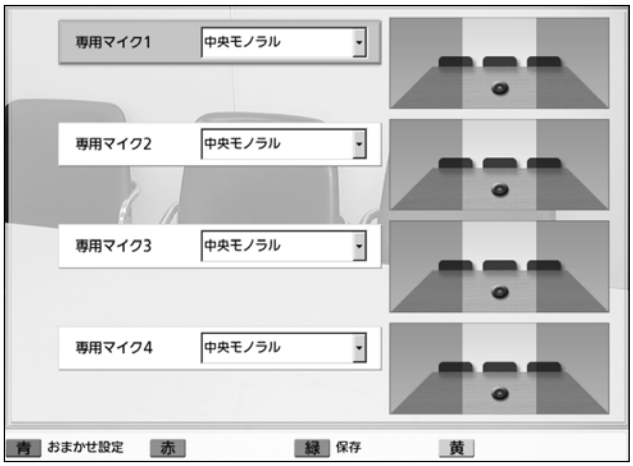
- おまかせ設定画面が表示されます。

お知らせ

- ユーザー設定画面が表示されている場合は、手順**6**にすすんでください。

5 **【青】**を押す

- ユーザー設定画面が表示されます。



6 **【▲】【▼】**で設定したい専用マイクを選び、**【決定】**を押す

7 **【▲】【▼】**で専用マイクの集音位置を選ぶ

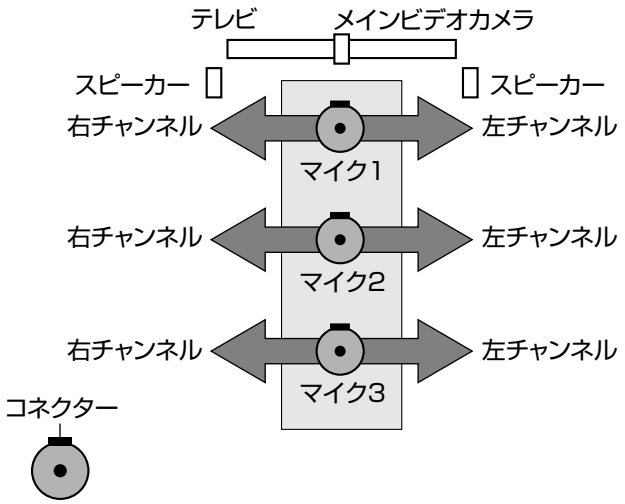
「左側」：左側の音声として送信される
「右側」：右側の音声として送信される
「中央モノラル」：全ての音声が左右両方のスピーカーへ同じ音量で送信される
「中央ステレオ」：マイクに集音された左右の音声がそれぞれ左側と右側のスピーカーへ同じ音量で送信される

お知らせ

- 専用マイクを**「中央ステレオ」**に設定する場合、専用マイクのコネクターを必ずテレビ側に向けて専用マイクを設置してください。
- 次の図中の設定値は、メインビデオカメラ側から見たチャンネルの左右を記載しています。

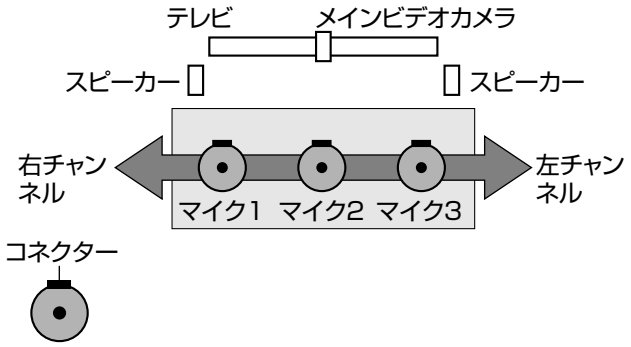
専用マイクの集音位置の設定例は次のとおりです。

専用マイクをテレビに対して垂直に設置する場合：



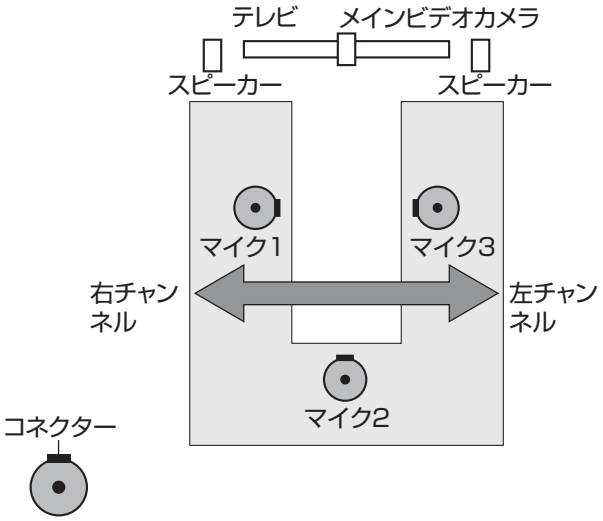
専用マイク1：**「中央ステレオ」**
専用マイク2：**「中央ステレオ」**
専用マイク3：**「中央ステレオ」**

専用マイクをテレビに対して平行に設置する場合：



専用マイク1：**「右側」**
専用マイク2：**「中央モノラル」**
専用マイク3：**「左側」**

専用マイクを次のように設置する場合：



専用マイク1：**「右側」**
専用マイク2：**「中央モノラル」**
専用マイク3：**「左側」**

お知らせ

- 専用マイクの近くで音を鳴らしてください。音を拾った専用マイクに**「▶」**が表示されます。
- 専用マイクをマイクオフしている場合は、**「▶」**は表示されません。
- 複数の専用マイクが同時に音を拾った場合、**「▶」**は表示されません。
- 専用マイクをマイクオフしているときに、マイクオフボタンを押すと**「▶」**が表示される場合があります。

8 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

9 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

10 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 設定後、専用マイクを移動しないでください。設定が専用マイクの位置と合わなくなる場合があります。

リモコンの設定をする

リモコンと本体にリモコンID（1、2、3）を設定することができます。
リモコンIDが同じリモコンからの信号に本体は反応します。リモコンIDを設定しない場合、本体は全てのリモコンからの信号に反応します。ホーム画面で本体のリモコンIDを確認することができます（27 ページ）。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「リモコンの設定」**を選び、**【決定】**を押す
- リモコン設定画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する
「リモコンIDの設定」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ
- **「する」**を選ぶと、本体のリモコンIDを設定することができます。
- **「しない」**を選ぶと、本体は全てのリモコンに反応します。

「本体のリモコンID」：**【◀】【▶】**で本体のリモコンID（**「ID1」**[デフォルト]、**「ID2」**、**「ID3」**）を選ぶ
「IDの不一致確認」：**【◀】【▶】**で**「する」**（デフォルト）、**「しない」**を選ぶ
- **「する」**を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンからの信号を、ホーム画面を表示中に受信したとき、警告画面が表示されます。画面上の次の手順に従って、リモコンIDを変更してください。
- **「しない」**を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンから信号を受信しても、ホーム画面に警告画面は表示されません。

お知らせ
- 近くで複数のリモコンIDを使用している場合は、**「IDの不一致確認」**を**「しない」**に設定してください。

6 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

8 **「リモコンIDの設定」を「する」に設定している場合**（85 ページ）：
リモコンのIDを変更するダイアログボックスが表示されます。手順**9**にすすんでください。

お知らせ

- ダイアログボックスが表示されている間は、着信できません。

「リモコンIDの設定」を「しない」に設定している場合（85 ページ）：
システム設定画面が表示されます。**【ホーム】**を押して、ホーム画面に戻ります。

9 次の手順に従って、リモコンのIDを変更する

1 **【・】**と**【#】**を同時に押したままにする

2 ボタンを離して2秒以内に、手順**4**の**「本体のリモコンID」**で設定したIDと一致する番号（**1**～**3**）を押す
- **1**: ID1
- **2**: ID2
- **3**: ID3

10 **【決定】**を押す
- ダイアログボックスが消えて、本体のリモコンIDが保存されます。

お知らせ

- ダイアログボックスが消えない場合は、上記の手順をくり返し実行してください。何度実行してもダイアログボックスが消えない場合は、電源を一度切ったあと再度入れなおして、設定を中止してください。詳細については、販売店へお問い合わせください。

11 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

ネットワーク接続の確認を行う

IPアドレスを指定して、ネットワーク接続を確認することができます。

お知らせ

- アドレス帳画面または履歴一覧画面からネットワーク接続の確認を行うことはできません。
- NGNモード使用時は、販売店によりネットワーク接続の確認が行われます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「ネットワークの確認」**を選び、**【決定】**を押す
- ネットワーク接続の確認画面が表示されます。

5 IPアドレスを入力する
- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

6 **【赤】**を押す
- ネットワーク接続の確認を開始します。ネットワーク接続の確認が終わった後、確認が成功またはタイムアウトした場合は、結果の詳細が表

示されます。確認が失敗した場合は、失敗を示すメッセージが表示されます。

7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

自己診断を行う

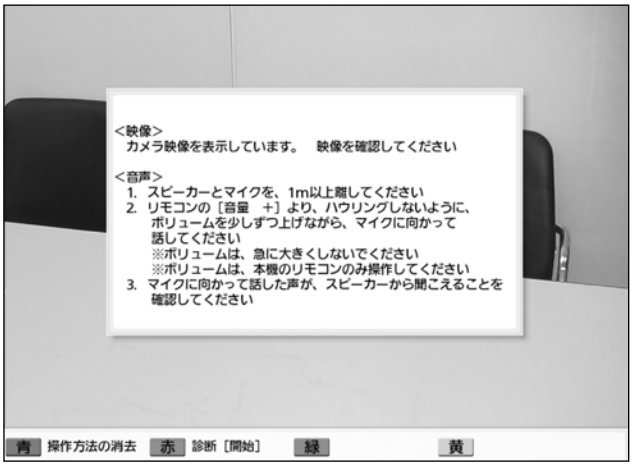
相手側のテレビに表示される映像やスピーカーから聞こえる音声を、通信を開始する前に、自分側のテレビとスピーカーで確認することができます。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「自己診断」**を選び、**【決定】**を押す
- 自己診断画面とダイアログボックスが表示されます。



お知らせ
- **【青】**を押すと、ダイアログボックスを表示／非表示にできます。
- マイクをスピーカーから最低1m以上離してください。

5 **【赤】**を押す
- 自己診断を開始します。

お知らせ
- メインビデオカメラからの映像を確認してください。
- ハウリングを避けるため、音量はリモコンの**【+】**で少しずつ上げてください。
- マイクに向かって話し、スピーカーから音声が聞こえるか確認してください。
- 自己診断中は、全ての専用マイクが**「中央ステレオ」**になります。
- 自己診断中の音質は**「標準」**になります。
- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては自己診断の開始に時間がかかる場合があります。

6 **【赤】**を押す
- 自己診断を終了します。

お知らせ
- **【赤】**を押さなかった場合、自己診断は約10分後に自動的に終了します。

7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

リモートメンテナンスを行う

販売店によるリモートメンテナンスを実行するために、次の操作を行います。操作を行った後、リモートメンテナンスが終了するまで本機を使用することはできません。電源を一度切ったあと再度入れなおすと、リモートメンテナンスを終了し、本機を使用することができます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「リモートメンテナンス」**を選び、**【決定】**を押す

- リモートメンテナンスの開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- リモートメンテナンス画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

管理者メニューの設定をする

お知らせ

- 入力中に着信があると、入力中の内容は反映されず、破棄されます。

管理者メニューにログインする

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「管理者でログイン」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者ログイン画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】**で**「パスワード」**を選び、パスワード（数字4～10桁）を入力する

お知らせ

- パスワードは、設置時に設定した管理者メニューログイン用パスワードを入力してください。
- パスワードをお忘れになった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

6 **【▲】【▼】**で**「ログイン」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

言語の設定をする

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「言語の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 言語設定画面が表示されます。

3 **【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で言語（**「日本語」**［デフォルト］、**「English」**）を選ぶ

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「日本語」**以外は選べません。

4 **【決定】**を押す

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が選択した言語で表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

暗号通信の設定をする

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 第三者により暗号通信の設定を変更される恐れがあります。管理者パスワードの管理や、暗号通信の設定の権限を一般ユーザーに与えるときはご注意ください。
- 暗号パスワードが設定されていない場合は、暗号通信の設定ができません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「暗号通信の設定」**を選び、**【決定】**を押す
- 暗号通信設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する
「設定するユーザー」：**【◀】【▶】**で**「管理者」**（デフォルト）、**「一般」**を選ぶ
- **「管理者」**を選ぶと、ネットワーク管理者のみ暗号通信の設定を変更することができます。
- **「一般」**を選ぶと、一般ユーザーでも暗号通信の設定を変更することができます（80 ページ、97 ページ）。

「暗号通信」：**【◀】【▶】**で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ
- **「有効」**：暗号通信が有効です。
- **「無効」**（デフォルト）：暗号通信が無効です。

お知らせ
- **「暗号通信」**の設定が相手と一致しない場合は、通信は開始されません。
- この設定は**「設定するユーザー」**で**「管理者」**を選んでいるときのみ設定可能です。
- MCU接続または他社接続の場合、暗号通信はできません。双方ともに暗号通信の設定を無効にする必要があります。

4 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

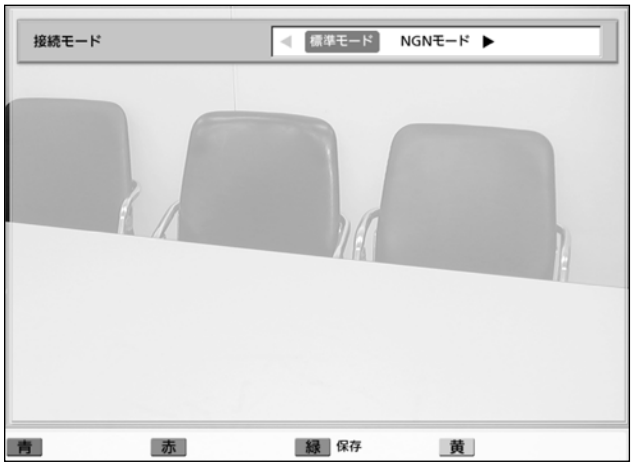
5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

接続モードを設定する

1 管理者メニューにログインする （88 ページ）
- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「接続モードの設定」**を選び、**【決定】**を押す
- 接続モード設定画面が表示されます。



3 **【◀】【▶】**で**「標準モード」**、**「NGNモード」**を選ぶ
「標準モード」：インターネットまたはイントラネット回線で通信を行います。
「NGNモード」：NGN回線で通信を行います。

お知らせ
- 接続モードの設定が一致していない相手と、通信はできません。
- NGNモードを選択している場合、MCU接続／他社接続はできません。

4 **【緑】**を押す
- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- NGNモードから標準モードに変更する場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

バージョンアップ確認の設定をする

ソフトウェアのバージョンアップを行う前に、最新のバージョンを確認するための設定を行います。

お知らせ

- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「バージョン確認の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- バージョン確認設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「DNSサーバー」：DNSサーバーのIPアドレスを入力する

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「プロキシサーバーアドレス」：プロキシサーバーのIPアドレスを入力する

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「プロキシサーバーポート」：プロキシサーバーのポート番号（**1**～**65535**）を入力します。

「起動時のバージョン確認」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

- **「する」**を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認を行います。利用可能なアップデートがある場合は、ホーム画面にダイアログボックスが表示されます。
- **「しない」**を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認は行いません。

4 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

ソフトウェアを更新する

お知らせ

- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「ソフトウェアの更新」**を選び、**【決定】**を押す

- バージョンアップ画面が表示されます。

3 **「起動時のバージョン確認」を「する」に設定している場合**（91 ページ）：
最新のソフトウェアバージョンが**「最新のバージョン」**に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順**4**にすすんでください。
「起動時のバージョン確認」を「しない」に設定している場合（91 ページ）：
【▲】【▼】で**「バージョン確認」**を選び、**【決定】**を押す

- バージョンアップの確認を開始します。最新のソフトウェアバージョンが**「最新のバージョン」**に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順**4**にすすんでください。

4 **【▲】【▼】**で**「ソフトウェア更新」**を選び、**【決定】**を押す

- ソフトウェアの更新を確認するダイアログボックスが表示されます。

お知らせ

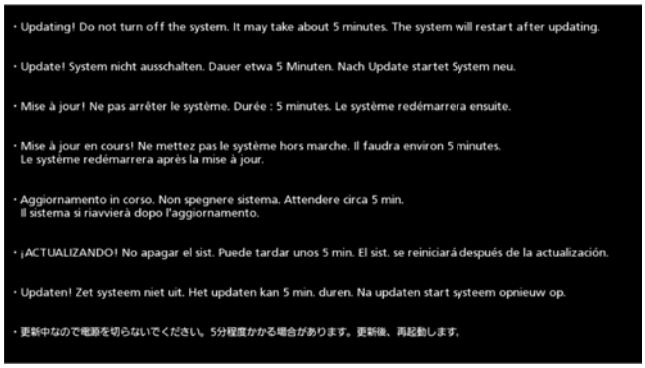
- ダイアログボックス内の注意事項をよく確認してから、次の手順にすすんでください。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 自動的に最新バージョンのダウンロードが開始されます。
- ダウンロードが完了すると、設定内容を反映させるため、本機は自動的に2回再起動されます。それぞれの再起動が始まる前には、次の画面が表示されます。

1回目の再起動前の画面

2回目の再起動前の画面



2回目の再起動後、本機は最新バージョンのソフトウェアで起動します。

お知らせ

- 最新のファームウェアおよび取扱説明書（操作編）の入手方法については、販売店にお問い合わせください。
- バージョンアップの確認や、最新バージョンのダウンロードに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。**【決定】**を押して本機を再起動してください。
  次の点を実行してみてください。
  a. DNSサーバーのIPアドレスまたはプロキシサーバーのIPアドレスとプロキシポートが正しいか確認して（91 ページ）、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

b. 上記の方法でもうまくいかない場合は、回線が混み合っている可能性があります。しばらく時間をおいてから、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

何度実行してもうまくいかない場合は、ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。販売店にご相談ください。

スクリーンスタンバイの設定をする

ある一定期間、本体またはリモコンの操作を行わない場合や着信がない場合、スクリーンスタンバイ状態に移行します。スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定することができます。

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「スタンバイの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- スクリーンスタンバイ設定画面が表示されます。

4 本機がスクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間（分）（**0**～**99**）を入力する（デフォルト：**10**）

お知らせ

- **「0」**に設定した場合、本機は自動的にはスクリーンスタンバイ状態に移行しません。リモコンの**【スクリーンスタンバイ】**を押すと、**「0」**に設定した場合でも、スクリーンスタンバイ状態に移行します。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

管理者パスワードの設定をする

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「パスワードの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- パスワード設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、パスワード（4～10桁）を入力する

「現在のパスワード入力」：現在のパスワードを入力する（デフォルト：**00000000**）

「新しいパスワードの入力」：新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの再入力」：新しいパスワードを再度入力する

お知らせ

- 設置時にログインパスワードを初期値から変更してください。
- パスワードは大切に保管してください。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

システムの初期化を行う

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「システムの初期化」**を選び、**【決定】**を押す

- システム初期化の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システムの初期化を完了するために、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワーク状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
- 初期化後、全ての設定とアドレス帳、通信履歴に保存されている情報は破棄されます。
- ソフトウェアの拡張（94 ページ）により有効にした機能は破棄されません。

拡張機能を有効にする

ソフトウェアの拡張により、機能を有効にすることができます。機能を有効にするためには、Registration

Key（レジストレーションキー）を販売店より入手し登録する必要があります。MPR ID、アクティベーションキーカードに記載されているActivation Key No.（アクティベーションキーナンバー）およびRegistration ID（レジストレーションID）を販売店に伝えてください。それらの情報を元に販売店がキー管理システムへ登録を行い、発行されたRegistration Key（レジストレーションキー）をお知らせします。

MPR IDを確認する

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）
- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「ソフトウェアの拡張」**を選び、**【決定】**を押す
- ソフトウェア拡張画面が表示されます。**「MPR ID」**（❶）の表示を確認してください。

Registration Key（レジストレーションキー）を登録する

入手したRegistration Key（レジストレーションキー）を本体に登録することにより、拡張機能を有効にします。

1 管理者メニューにログインする（88 ページ）
- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す
- 次のページが表示されます。

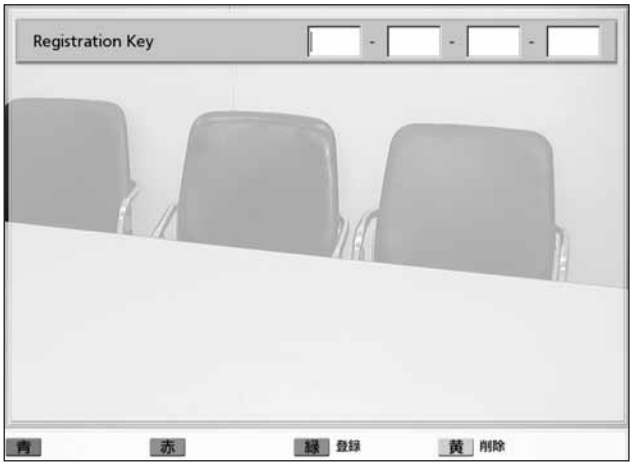
3 **【▲】【▼】**で**「ソフトウェアの拡張」**を選び、**【決定】**を押す
- ソフトウェア拡張画面が表示されます。

お知らせ

- **「ソフトウェア機能」**には有効にした機能の情報が表示されます。詳細は次のとおりです。
  - **「VC500アップグレード」**：多地点発信機能が有効になっています（KX-VC400のみ）
  - **「AV通信プロトコル拡張」**：MCU接続／他社接続機能が有効になっています
  - **「登録されている機能はありません」**：有効になっている機能がありません

4 **【緑】**を押す

- Registration Key（レジストレーションキー）登録画面が表示されます。



5 Registration Key（レジストレーションキー）（16桁）を入力する

6 **【緑】**を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- 入力したRegistration Key（レジストレーションキー）が無効の場合、**「Registration Keyの認証に失敗しました」**と表示されます。手順**5**からやり直してください。発行されたRegistration Key（レジストレーションキー）を正しく入力しても、上記のメッセージが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
- Registration Key（レジストレーションキー）の登録は、一度につき一つのみ可能です。複数の機能を有効にするため複数のRegistration Key（レジストレーションキー）を登録するには、登録毎に再起動が必要になります。
- 有効になっている機能を機器情報表示画面でも確認することができます（66 ページ）。

発信元の設定をする

最大5つの発信元を登録することができます。ネットワークの設定を変更することなく、1台の本機を複数の会議室で使用することができます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

発信元を登録する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「#未使用#」**を選び、**【青】**を押す

- 発信元設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「発信元名」：発信元の名前を入力する
「IPアドレス」：IPアドレスを入力する

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「サブネットマスク」：サブネットマスクを入力する

「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する
「最大帯域」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で最大帯域（**512 kbps**、**768 kbps**、**1.0 Mbps**、**1.2 Mbps**、**2.0 Mbps**、**3.0 Mbps**、**4.0 Mbps**、**5.0 Mbps**、**6.0 Mbps**、**7.0 Mbps**、**8.0 Mbps**、**9.0 Mbps**［デフォルト］、**10.0 Mbps**）を選ぶ

お知らせ

- 通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- 販売店により設定された最大帯域より大きい値を設定することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 3地点通信を行う場合は、**「1.0 Mbps」**以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- 4地点通信を行う場合は、**「2.0 Mbps」**以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。

「暗号通信」：**【◀】【▶】**で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**：暗号通信を有効にします。
– **「無効」**（デフォルト）：暗号通信を無効にします。

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- **「暗号通信」**の設定ができない場合は、ネットワーク管理者にご連絡ください。
- MCU接続または他社接続の場合、暗号通信はできません。双方ともに暗号通信の設定を無効にする必要があります。

「最大解像度」：**【◀】【▶】**で通信中のメインビデオカメラとサブビデオカメラの最大解像度を選ぶ

– **「フルHD」**：最大解像度： 1920 × 1080i（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）
– **「HD」**：最大解像度： 1280 × 720p（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）
– **「自動」**（デフォルト）：利用可能な帯域に基づいて、**「フルHD」**または**「HD」**を選びます。

お知らせ

- 推奨設定値は**「自動」**または**「HD」**です。
- **「フルHD」**を設定し、帯域が低い通信相手と通信を行った場合、**「HD」**または**「自動」**を設定した場合よりも、低い解像度になる可能性があります。
- 動作周波数が通信者間で異なる場合、**「フルHD」**に設定していても、最大解像度は**「HD」**になります。
- 3地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- 4地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラとサブビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。

5 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信元選択画面が表示されます。

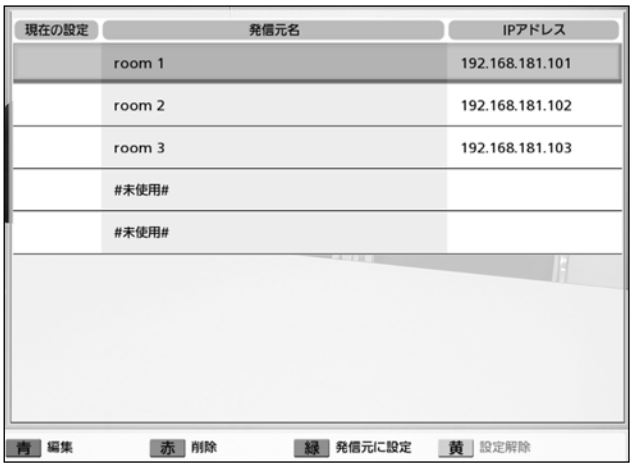
7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

発信元を選択する

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。



3 **【▲】【▼】**で使用したい発信元を選ぶ

お知らせ

- 選択中の発信元には、**「現在の設定」**に**「➡」**が表示されます。
- 発信元が登録されていない場合は**「#未使用#」**が表示されます。

4 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 発信元選択中は、本体情報には機器名ではなく、**「発信元名」**に入力した名前が表示されます。
- 電源を切ると、システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻ります。
- システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻すためには、電源を一度切ったあと再度入れなおすか、次の手順に従ってください。
  1. 手順1～2をくり返す
  2. **【▲】【▼】**で選択中の発信元を選ぶ
  3. **【黄】**を押す
  - システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻すかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  4. **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
     - ホーム画面が表示されます。

発信元情報を編集する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で編集したい発信元を選ぶ

4 **【青】**を押す

- 発信元編集画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】**で編集したい項目を選び、編集する

6 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

8 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

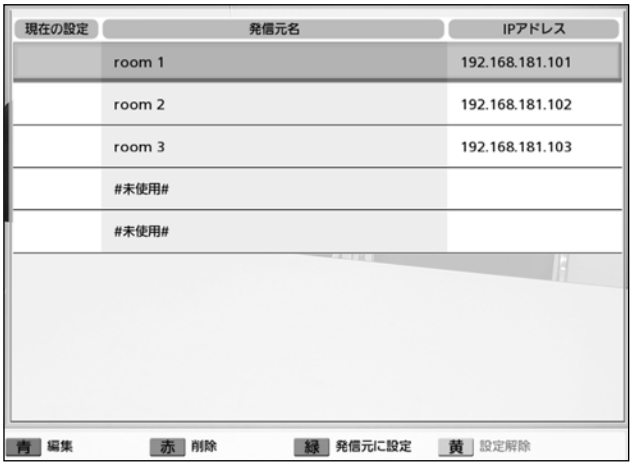
発信元情報を削除する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。



3 **【▲】【▼】**で削除したい発信元を選ぶ

4 **【赤】**を押す

- 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

6 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

文字や数字を入力する

リモコンでカタカナ、アルファベット、数字を入力することができます。（リモコンで漢字を入力することはできません。漢字を入力したい場合は、お手数ですが販売店までご相談ください。）
入力可能な文字や数字は次のとおりです。設定により選択した言語、また、選択した接続モードによって入力可能な文字は異なります。入力したい文字や数字が表示されるまで、該当するボタンを繰り返し押します。同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには、【▶】を押してカーソルを右に移動させてください。

表1　日本語

ボタン	カナモード（全角）	英字モード（半角）		数字モード（半角）
		大文字優先モード	小文字優先モード	
1 ア	アイウエオァィゥェォ	1	1	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABCabc2	abcABC2	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEFdef3	defDEF3	3
4 タ GHI	タチツテトッ	GHIghi4	ghiGHI4	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKLjkl5	jklJKL5	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNOmno6	mnoMNO6	6
7 PマQRS	マミムメモ	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	tuvTUV8	8
9 Wラ XYZ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9
0 ワヲン ー	ワヲンヮー（全角スペース）	0（半角スペース）	0（半角スペース）	0
・ ゛゜ ¥@	゛（濁点）゜（半濁点）	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	．＠：；”＝＊＋＜＞#＿－＆＄￥％～￣！？／‘（），［］｛｜｝’	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表2　英語（標準モード選択時のみ）

ボタン	英字モード(半角)		数字モード（半角）	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	ABCabc2	abcABC2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEFdef3	defDEF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4	GĞHIÌÍÎÏĬİgğhiìíîïĭı4	gğhiìíîïĭıGĞHIÌÍÎÏĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOmno6	mnoMNO6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 PマQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUVtuv8	tuvTUV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 WラXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲン ー	0（半角スペース）	0（半角スペース）	0	0（半角スペース）	0（半角スペース）	0（半角スペース）	0（半角スペース）
・ ゛ ゜ ＊ @	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

入力モードを切り替える

【青】または**【赤】**を押すたびに、次のように順番に入力モードが切り替わります。

- **【青】**:
  （日本語選択時）カナモード → 英字モード → 数字モード
  （英語選択時）英字モード → 数字モード → 拡張文字1モード → 拡張文字2モード
- **【赤】**:
  （英字モード／拡張文字1モード／拡張文字2モード選択時）小文字優先モード → 大文字優先モード

現在選択中の入力モードはガイドエリアに表示されます。

例：カナモードを選択中

入力した文字や数字を削除する

【黄】を押すと、入力した文字や数字を削除できます。カーソルの位置によって削除される文字や数字が次のように異なります。

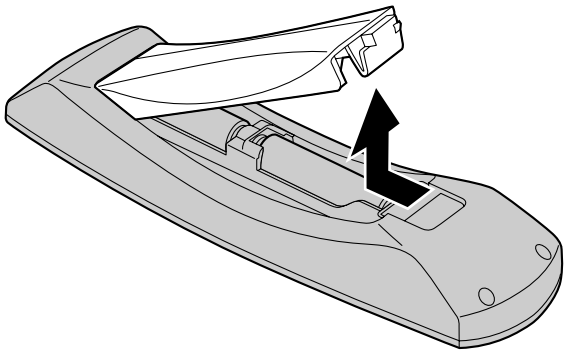
- カーソルの位置が入力文字・数字の最後：直前の1文字や数字を削除
- カーソルの位置が入力文字・数字の途中：直後の1文字や数字を削除

文字や数字を挿入する

【◀】【▶】で挿入したい位置にカーソルを移動させ、文字や数字を入力します。入力した文字や数字は、移動させたカーソルの前後の文字や数字の間に挿入されます。

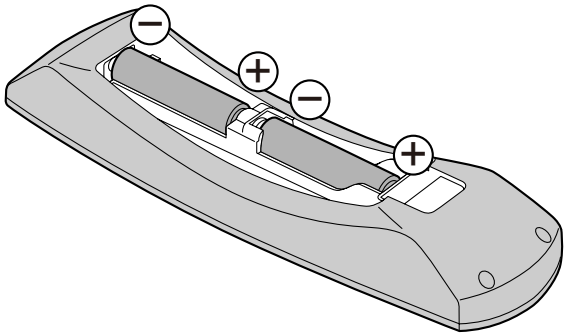
リモコンの電池を交換する

1 ふたを開ける



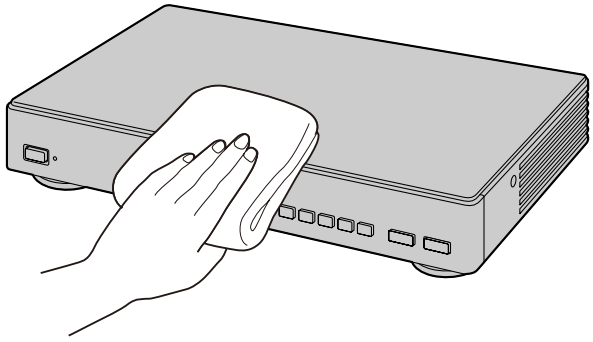
2 単3形乾電池を取り出す

3 交換用の単3形乾電池を（−）側から入れ、ふたを閉める



お手入れ

お手入れをするときは、電源プラグやケーブルを抜き、電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままお手入れをすると、誤動作の原因になります。



- 機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  汚れがひどい場合、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お手入れには下記のものは使わないでください。変色、変質の原因になります。
  - 石油
  - みがき粉
  - アルコール
  - シンナー
  - ベンジン
  - ワックス
  - 熱湯
  - 粉せっけん
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本体が正しく接続されているか、電源プラグを差し込んでいる電源コンセントから電源が供給されているか確認してください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応
電源が入らない	• 電源プラグが電源コンセントに接続されていません。 → 電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
画面が表示されない	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。自己診断を行い、本体に接続しているビデオカメラとテレビの動作を確認してください（87 ページ）。 • メインビデオカメラの電源が入っていません。 → メインビデオカメラの電源を入れてください。 • テレビの電源が入っていません。またはテレビの入力切替の設定が異なっています。 → テレビの電源を入れてください。テレビの入力切替の設定を変更してください。 • スクリーンスタンバイ状態です。 → 本体またはリモコンを操作するか、着信があるとスクリーンスタンバイ状態が解除され、映像が表示されます。 **お知らせ** • ネットワーク管理者がスクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定することができます（93 ページ）。 • HDCP（不正コピー防止技術）に対応した機器を接続したときは、青い画面が表示されたり、青と黒の画面を繰り返すなど映らない場合があります。 → 正常に映らない場合は、HDCPに対応した機器を接続しないでください。

こんなとき	原因と対応
映像の上／下または左／右が欠けているように見える	• テレビが、すべてを表示できる設定になっていません。 → パナソニック（株）製テレビをご使用の場合は、テレビの画面表示モードが「フル」になっていることを確認してください。 → パナソニック（株）製以外のテレビをご使用の場合は、販売店にご相談ください。 • MCU接続または他社接続の場合、相手側の機器によっては、映像の一部が切れて表示されることがあります。 → 販売店にご相談ください。 **お知らせ** • 3地点通信中の**レイアウト1**では、左右が切れて表示されます（46 ページ）。4地点通信中の**レイアウト2**では、映像の端が切り取られ、中央部が表示されます（49 ページ）。
映像の横縦比が正しく表示されない	• MCU接続または他社接続の場合、相手側の機器によっては、映像の横縦比が正しく表示されないことがあります。 → 映像の横縦比を調整してください（45 ページ）。
操作しても動かない／動作がおかしい	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。 • エラーが発生しています。 → 電源を切って再起動してください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。

こんなとき	原因と対応
リモコンが動かない	• リモコンの電池が切れています。 → 新しい電池に交換してください。 • リモコンの動作範囲外で操作しています。 → リモコンの動作範囲内で操作していることを確認してください（17 ページ）。 • リモコンIDが本体とリモコンとで一致していません。 → 本体とリモコンのリモコンIDが一致するよう設定を変更してください。次の手順を行ってください。 **1.** 本体の**【ホーム】**を押す • ホーム画面が表示されます。本体のリモコンIDを確認してください（27 ページ）。 **お知らせ** • リモコンIDがホーム画面に表示されていない場合は、販売店へお問い合わせください。 **2.** **[・]**と**[#]**を同時に押したままにする **3.** ボタンを離して2秒以内にホーム画面に表示されているIDと一致する番号（**1**～**3**）を押す **お知らせ** • 上記の手順を行ってもリモコンが動かない場合は、販売店へお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
相手とつながらない	• LANケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。相手のIPアドレスを指定して、ネットワーク接続の確認を行い、相手との接続を確認してください（86 ページ）。 • 最大帯域の設定が正しくありません。 → 512 kbpsに設定している場合、3地点通信はできません。512 kbpsまたは768 kbpsに設定している場合、4地点通信はできません。最大帯域の設定を確認し、ご使用の環境に合った設定を行ってください。 → 他社接続の場合、双方の帯域設定によっては通信できません。最大帯域の設定を確認し設定を変更するか、適切な設定に変更するように相手に伝えてください（80 ページ、97 ページ）。こちら側の設定を変更した場合、変更後の情報を発信元に登録することをおすすめします（96 ページ）。 • 発信元の設定が正しくありません。 → 発信元の設定を確認してください。ご使用の環境に合った設定を行ってください（96 ページ）。 • IPアドレスが正しく入力されていません。 → 相手のIPアドレスを正しく入力したか確認してください。 • インターネット接続が確立（リンクアップ）していません。 → 接続するハブ、ルーターなどによっては、リンクアップに 10 秒以上かかるものがあります。 • 互換性のないソフトウェアのバージョンを使用している相手と通信をしようとしています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。古いバージョンのソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。 • MCU接続または他社接続の場合、いずれかの側で暗号通信を有効にしています。 → すべての通信参加者の暗号通信機能が無効になるよう設定を変更してください（80 ページ、89 ページ、97 ページ）。 • MCU接続または他社接続の場合、対応していない機種に接続しようとしています。 → 機種によっては別売のアクティベーションキー（KX-VCS101）により通信可能になる場合があります。対応機種については、販売店にご相談ください。 → 発信履歴から問題のある機器名を確認し、販売店にご相談ください。

こんなとき	原因と対応
映像が乱れる	• ハブやルーターの設定が本機と異なっています。 → 販売店にご相談ください。 • パケットロスが発生しています。（ネットワークが混雑しています。） → ネットワーク状況アイコンの表示を確認してください（29 ページ）。アンテナの数が0～1本の状態が続く場合は、**【状況表示】**を 2 回押して、**「ロス率」**と**「帯域」**をご確認のうえ、ネットワーク管理者または販売店にご相談ください（66 ページ）。 • 最大帯域の設定が正しくありません。 → 3地点通信中は、1 Mbps以上の帯域が必要です。**「最大帯域」**を**「1.0 Mbps」**以上の値に設定を変更してください（80 ページ、97 ページ）。 → 4地点通信中は、1.5 Mbps以上の帯域が必要です。**「最大帯域」**を**「2.0 Mbps」**以上の値に設定を変更してください（80 ページ、97 ページ）。 → MCU接続または他社接続の場合、相手側の機器によっては、帯域不足などにより映像が乱れることがあります。その場合は販売店にご相談ください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
通信中の最大帯域が変わっている	• 標準モード使用時の通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。 • NGNモード使用時は、通信中は発信側の最大帯域が適用されます。通信相手の契約タイプによっては、発信側の設定より低い帯域になる場合があります。 → ご利用の回線に問題が発生する場合は、販売店にご相談ください。
パソコンの画面やサブビデオカメラの映像が共有できない	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（56 ページ、60 ページ）。ホーム画面で**【PC】**または**【サブカメラ】**を押して、パソコン画面やサブビデオカメラの映像を確認してください（56 ページ、60 ページ）。 • パソコンの解像度とリフレッシュレートが本機に対応していません。 → 本機に対応している解像度とリフレッシュレートに設定してください（57 ページ）。
サブビデオカメラの静止画を表示する時、鮮明な画像が表示されるのに時間がかかる	• 静止画の送信に時間がかかっています。パケットロスが発生しています。 → **「静止画送信時の解像度」**を**「HD」**に変更してください（81 ページ）。

音声について

こんなとき	原因と対応
相手に自分の声が聞こえない	• マイクのケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。自己診断を行い、本体に接続しているマイクの動作を確認してください（87 ページ）。 • マイクがマイクオフになっています。 → リモコンの**【マイクオフ】**を押すか、専用マイクのマイクオフボタンを押して、マイクオフを解除してください（53 ページ）。 • **「着信時のマイクオフ」**が**「する」**に設定されています。 → 応答して通信を開始した時のマイクがマイクオフになります。設定を確認してください（81 ページ）。 • マイクが遮られています。 → 通信中は、物や手でマイクを遮らないでください。 • マイクから離れすぎています。 → マイクの近くで話をしてください。 • 専用マイクを5台以上カスケード接続しています。 → 接続台数を4台以下にしてください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
音が途切れる	• マイクから離れすぎています。 → マイクの近くで話をしてください。 • 通信中に本体やマイクを動かしています。 → 通信中は、本体やマイクを動かさないでください。 • マイクが遮られています。 → 通信中は、物や手でマイクを遮らないでください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
音声が聞こえない・小さい	• 本機の音量の設定が小さすぎます。 → 音量を大きくしてください（52 ページ）。 **お知らせ** • 通信開始時の音量を設定することができます。設定を確認してください（79 ページ）。 • 通信中の相手がマイクオフになっています。 → 相手にマイクオフを解除するように伝えてください。 • テレビの音量の設定が小さすぎます。 → テレビの音量を大きくしてください。

こんなとき	原因と対応
ハウリングが発生する	• マイクがテレビ・スピーカーに近づきすぎています。 → マイクをテレビ・スピーカーから1 m以上離してください。 • テレビの音量の設定が大きすぎます。 → テレビの音量を小さくしてください。
音が途切れる／エコー（自分の声がスピーカーから聞こえる現象）が発生する	• 通信開始直後は、本機が使用環境に適応していない場合があります。 → 通信開始直後は、相手と交互にお話ください。本機が使用環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくなるように自動的に調整します。
相手にノイズが聞こえる	• 専用マイクのケーブルが正しく接続されていません。 → 専用マイクと本体の専用マイク端子のコネクターのロックが、しっかり、かかっていることを確認してください。
相手の映像と逆のスピーカーから声が聞こえる（画面の右側に映っている相手の声が左側から聞こえるなど）	• スピーカーが正しく配置されていません。 → テレビの両側にスピーカーを配置し、左右が正しく接続されているか確認してください。 • 相手側のスピーカーが正しく配置されていません。 → 相手にテレビの両側にスピーカーを配置するように伝えてください。マイク位置の設定がおまかせ設定の場合、会議室の前方にテレビ、後方にスピーカーを配置すると、マイクの集音位置が左右逆になり、相手側の映像と逆のスピーカーから声が聞こえます。 • 相手側のマイク位置の手動設定が正しくありません。 → 相手にマイク位置の手動設定内容を確認するように伝えてください。マイク位置の手動設定の左右はメインビデオカメラから見た左右です。また、**「中央ステレオ」**に設定する場合は、専用マイクのコネクターをテレビ側に向けて設置してください（83 ページ）。

機能の設定について

こんなとき	原因と対応
本機の設定ができない	• 通信中です。 → 通信を終えてから、本機を設定してください。 • 着信中です。 → アドレス帳編集中に着信すると、編集内容を保存せずに着信に応答するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。アドレス帳以外の設定については、編集中に着信すると自動的に編集内容は破棄されますので、通信が終了してから再度編集をしてください。

こんなメッセージが出たら

表示メッセージ	原因と対応
暗号設定が異なるため通信できませんでした	• 暗号通信の有効／無効の設定が相手と一致していません。 → 暗号通信の設定を相手と合わせてください（80 ページ、89 ページ）。
暗号用パスワードが一致しないため通信できませんでした	• 暗号パスワードの設定が相手と一致していません。 → 販売店にご相談ください。
メインカメラの入力信号を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。 • メインビデオカメラからの入力信号不正です。 → 接続したメインビデオカメラから正常な入力信号が受信できません。販売店にお問い合わせください。
アドレス帳に空きがないため登録できません	• アドレス帳に空きがありません。 → 不要な登録先を削除してください（75 ページ）。
IPアドレスが正しくありません	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
サブネットマスクが正しくありません	• サブネットマスクとして無効な値を入力しています。 → 正しいサブネットマスクを入力してください。
デフォルトゲートウェイが正しくありません	• デフォルトゲートウェイとして無効な値を入力しています。 → 正しいデフォルトゲートウェイを入力してください。
日時の入力が正しくありません	• 有効な入力範囲以外の値を入力しています。 → 2011/1/1～2035/12/31の値で入力してください。
PCが接続されていません 接続を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（56 ページ）。 • パソコンの電源が切れています。 → パソコンの電源を入れてください。 • パソコンの外部ディスプレイ端子から信号が出力されていません。 → パソコンの画面の出力先が外部ディスプレイになるように、パソコンの設定を変更してください。

表示メッセージ	原因と対応
サブカメラが接続されていません 接続を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（60 ページ）。 • サブビデオカメラの電源が切れています。 → サブビデオカメラの電源を入れてください。
サブカメラの入力信号を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（18 ページ）。 • サブビデオカメラからの入力信号不正です。 → 接続したサブビデオカメラから正常な入力信号が受信できません。販売店にお問い合わせください。
画面の解像度を確認してください	• パソコンの解像度とリフレッシュレートが本機に対応していません。 → 本機に対応している解像度とリフレッシュレートに設定してください（57 ページ）。
このIPアドレスはすでに使用されています	• 使用するネットワーク上に、入力したアドレスがすでに設定された機器があります。 → 同一ネットワーク上ではIPアドレスが重複しないように設定してください。
冷却用ファンが停止しました 速やかに電源を切ってください	• CPU冷却用のファンが停止しました。 → 速やかに電源を切り、販売店にご相談ください。
メインカメラの設定を確認してください <カメラの設定確認> カメラ本体を操作し、HDMI出力を1080iに設定してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラの設定をHD解像度（1920 × 1080i）に変更してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
メインカメラの設定を確認してください <カメラの確認> 動作周波数が60Hzのカメラを使用してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• 本体の動作周波数と異なるビデオカメラを検知しました。 → 本体の動作周波数と同じビデオカメラを使用してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

表示メッセージ	原因と対応
サブカメラの設定を確認してください <カメラの設定確認> カメラ本体を操作し、HDMI出力を1080iに設定してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラの設定をHD解像度（1920 × 1080i）に変更してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
サブカメラの設定を確認してください <カメラの確認> 動作周波数が 60Hzのカメラを使用してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• 本体の動作周波数と異なるビデオカメラを検知しました。 → 本体の動作周波数と同じビデオカメラを使用してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
ソフトウェアのバージョンが異なるため通信できませんでした	• 互換性のないソフトウェアのバージョンを使用している相手と通信をしようとしています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。古いバージョンのソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。
ソフトウェアの拡張機能を有効にしていないため通信できませんでした	• MCU接続／他社接続機能を有効にしていないのに、MCUまたは他社製テレビ会議システムと通信しようとしています。 → アクティベーションキー（KX-VCS101）によりMCU接続／他社接続機能を有効にすると（94 ページ）、パナソニック製HD映像コミュニケーションユニット以外の機器と通信できます。アクティベーションキーの詳細、および接続が可能なMCUまたは他社製テレビ会議システムの機種については、販売店にご相談ください。 **お知らせ** • KX-VC400をご使用の場合、アクティベーションキー（KX-VCS201）によりKX-VC500同等の機能にアップグレードした後のみMCU接続／他社接続機能を有効にすることができます。
組み合わせ不一致のため通信できませんでした	• 多地点通信において、通信参加者の中に通信ができない相手が含まれています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。古いバージョンのソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。

表示メッセージ	原因と対応
サポート外のため通信できませんでした	• サポートしていない機能で接続しようとしました。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。古いバージョンのソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。接続可能なバージョン、機能の詳細については、販売店へお問い合わせください。 • サポートしていないMCUまたは他社製のテレビ会議システムの機種と接続しようとしました。 → 接続可能なMCUまたは他社製のテレビ会議システムの機種の詳細については、販売店へお問い合わせください。
サポート外のため通信を切断しました	• 通信相手の機器がサポートしていないコーデックを使用しています。 → 通信相手の機器の設定を確認してください。
本体の設定（**n2**）と異なるリモコンID（**n1**）を受信しました 本体の設定と同じリモコンで［ホーム］を押してください または、以下の手順でリモコンを設定してください **1** ［·］と［#］を同時に押して離してください **2** 2秒以内に、［**n2**］を押してください **3** リモコンの［ホーム］を押して、この表示が消えれば変更完了です ※この表示が消えない場合は、リモコンの電池を確認し、本体近くで、もう一度設定してください **お知らせ** • ここでは、リモコンのリモコンID（**1**、**2**、**3**）を**n1**と記載しています。 • ここでは、本体のリモコンID（**1**、**2**、**3**）は**n2**と記載しています。	• 本体とリモコンのリモコンIDが一致しません。 → 画面上の手順に従って、リモコンのリモコンIDを変更して本体と合わせてください。 → リモコンのリモコンIDが変更できない場合は、販売店へお問い合わせください。 → 近くで複数のリモコンIDを使用している場合や、このメッセージを表示させない場合は、**「IDの不一致確認」**を**「しない」**に設定してください（85 ページ）。

表示メッセージ	原因と対応
発信先アドレスが正しくありませんIPアドレスを指定してください	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
発信先を確認してください	• 相手のIPアドレスが自分のIPアドレスと同じです。 → 正しいIPアドレスを登録してください。
DNSサーバーが正しくありません	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
あとn秒で通信を終了します通信を継続する場合は、［はい］を押してください **お知らせ** • 設定した時間の残り1分前になった時、このメッセージが表示されます。最初に表示される時、nは**「60」**と表示されています。残りの時間が減り始めます。	• **「最長通信時間」**で設定した時間が残り1分となっています（81 ページ）。 → **「はい」**を選ぶと、**「最長通信時間」**で設定した時間分の通信時間を延長することができます。**「いいえ」**を選ぶと、通信は切断されます。
ネットワークの設定が正しくありません	• NGNモード使用時に、一時的に通信が行えない状態が発生しています。 → LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。ホーム画面に電話番号が表示されるのを待って、再度発信してください。 **お知らせ** • ホーム画面に電話番号が表示されるまで、最大で約10分かかる場合があります。

表示メッセージ	原因と対応
接続拒否されました	• NGNモード使用時に、相手に接続拒否されたか、相手側の本体に電源が入っていないか、またはLANケーブルが正しく接続されていません。 → 相手側の本体に電源が入っており、ホーム画面に電話番号が表示されていることを確認するように相手に伝えてください。
切断されました	• NGNモード使用時に、相手と通信ができない場合、本体が原因を特定できずに、通信が切断されました。 → 電話番号が正しいか確認してください。しばらく待って再度発信し、それでも接続できない場合は、販売店にご相談ください。 • MCUまたは他社接続時に暗号通信を有効にする設定をしているため、通信が切断されました。 → 双方ともに暗号通信の設定を無効にしてください。 • MCUまたは他社接続時に相手と通信ができない場合、本体が原因を特定できずに、通信が切断されました。 → しばらく待って再度発信し、それでも接続できない場合は、販売店にご相談ください。
接続先が音声電話のため通信できませんでした	• 相手側の機器が一般電話であるか、相手側でテレビ電話の契約がされていません。 → 電話番号が正しいか確認してください。相手側に、回線の契約を確認するように伝えてください。
ネットワークに接続できません (XXXXX XXXX) **お知らせ** • 「XXXX XXXX」にはエラーコード（数字）が表示されます。	• NGNモード使用時に、LANケーブルが正しく接続されていないため、通信ができません。 → LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。ホーム画面に電話番号が表示されるのを待って、再度発信してください。それでも接続できない場合は、エラーコードをお控えのうえ、販売店にご相談ください。 **お知らせ** • LANケーブルが正しく接続されていないことが原因で、通信が行えない状態が発生した場合、LANケーブルを正しく接続し直しても、最大で約10分電話番号が表示されず、通信を行えない場合があります。
接続先の帯域設定値が低いため通信できませんでした	• 相手側の最大帯域の設定が多地点通信（3地点、4地点）が可能な値になっていません。 → 最大帯域の設定を変更するように相手に伝えてください。
サポート外のためPC共有できませんでした	• 相手がサポートできない解像度のため、パソコン画面を共有することができません。 → 相手が対応可能な解像度に設定を変更してください。 → ネットワーク管理者にご相談ください。

表示メッセージ	原因と対応
トーン信号は送信できません。	• 相手側の機器がトーン信号に対応していないため、トーン信号を送信できません。 → 相手側の機器の設定を確認するように伝えてください。

その他

こんなとき	原因と対応
画面に Safe Mode（セーフモード）が表示される	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラを本体から外し、電源を一度切ったあと再度入れなおして本機を再起動してください。ビデオカメラの設定が HD 解像度（1920 × 1080i）になっていることを確認し、再度本体に接続してください。 • SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のテレビを検知しました。 → テレビを本体から外し、電源を一度切ったあと再度入れなおして本機を再起動してください。テレビの設定が HD 解像度（1920 × 1080i）になっていることを確認し、再度本体に接続してください。 • ビデオカメラまたはテレビの動作周波数が本体の動作周波数の設定と異なります。 → 本体の設定と同じ動作周波数のビデオカメラまたはテレビを使用してください。詳細については、販売店へお問い合わせください。

ライセンスについて

(1) GPL / LGPL
この製品は、GNU General Public License (GPL) あるいは GNU Lesser General Public License (LGPL) の条件に基づき認可されたソフトウェアを使用しています。
GPL と LGPL に関する条項は、以下のとおりです。

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the

entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals

of preserving the free status of all derivatives of our free software and
of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY
FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN
OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES
PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED
OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS
TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE
PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING,
REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING
WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR
REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES,
INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING
OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED
TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY
YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER
PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest
possible use to the public, the best way to achieve this is to make it
free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest
to attach them to the start of each source file to most effectively
convey the exclusion of warranty; and each file should have at least
the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify
it under the terms of the GNU General Public License as published by
the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or
(at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the
GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along
with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this
when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate

parts of the General Public License. Of course, the commands you use may
be called something other than `show w' and `show c'; they could even be
mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your
school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if
necessary. Here is a sample; alter the names:

  Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
  `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

  <signature of Ty Coon>, 1 April 1989
  Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into
proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may
consider it more useful to permit linking proprietary applications with the
library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General
Public License instead of this License.

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts
as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence
the version number 2.1.]

Preamble

  The licenses for most software are designed to take away your
freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public
Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change
free software--to make sure the software is free for all its users.

  This license, the Lesser General Public License, applies to some
specially designated software packages--typically libraries--of the
Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You
can use it too, but we suggest you first think carefully about whether
this license or the ordinary General Public License is the better
strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

  When we speak of free software, we are referring to freedom of use,
not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that
you have the freedom to distribute copies of free software (and charge
for this service if you wish); that you receive source code or can get
it if you want it; that you can change the software and use pieces of
it in new free programs; and that you are informed that you can do
these things.

  To protect your rights, we need to make restrictions that forbid
distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these
rights. These restrictions translate to certain responsibilities for
you if you distribute copies of the library or if you modify it.

  For example, if you distribute copies of the library, whether gratis
or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave
you. You must make sure that they, too, receive or can get the source
code. If you link other code with the library, you must provide
complete object files to the recipients, so that they can relink them

with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a

"work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses

the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a

work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more

than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent

infringement or for any other reason (not limited to patent issues),
conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or
otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not
excuse you from the conditions of this License. If you cannot
distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this
License and any other pertinent obligations, then as a consequence you
may not distribute the Library at all. For example, if a patent
license would not permit royalty-free redistribution of the Library by
all those who receive copies directly or indirectly through you, then
the only way you could satisfy both it and this License would be to
refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any
particular circumstance, the balance of the section is intended to apply,
and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any
patents or other property right claims or to contest validity of any
such claims; this section has the sole purpose of protecting the
integrity of the free software distribution system which is
implemented by public license practices. Many people have made
generous contributions to the wide range of software distributed
through that system in reliance on consistent application of that
system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing
to distribute software through any other system and a licensee cannot
impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to
be a consequence of the rest of this License.

  12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in
certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the
original copyright holder who places the Library under this License may add
an explicit geographical distribution limitation excluding those countries,
so that distribution is permitted only in or among countries not thus
excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if
written in the body of this License.

  13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new
versions of the Lesser General Public License from time to time.
Such new versions will be similar in spirit to the present version,
but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library
specifies a version number of this License which applies to it and
"any later version", you have the option of following the terms and
conditions either of that version or of any later version published by
the Free Software Foundation. If the Library does not specify a
license version number, you may choose any version ever published by
the Free Software Foundation.

  14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free
programs whose distribution conditions are incompatible with these,
write to the author to ask for permission. For software which is
copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free
Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our
decision will be guided by the two goals of preserving the free status
of all derivatives of our free software and of promoting the sharing
and reuse of software generally.

NO WARRANTY

  15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO
WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW.
EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR
OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY

KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

(2) MPL
この製品は、Mozilla Public License (MPL) の条件に基づき認可されたソフトウェアを使用しています。

MPL に関する条項は、以下のとおりです。

MOZILLA PUBLIC LICENSE
Version 1.1

---

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control

compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.
The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.
Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are

effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.
The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.
Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.
You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters
(a) Third Party Claims.
If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.
If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.
Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.
You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.
You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.
You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this

License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.
Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.
Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.
If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABLE, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGING. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declatory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995),

all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at http://www.mozilla.org/MPL/

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____. Portions created by _____ are Copyright (C) _____ _____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[___] License"), in which case the provisions of [_____] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [____] License and not to allow others to use

your version of this file under the MPL, indicate your decision by
deleting the provisions above and replace them with the notice and
other provisions required by the [___] License. If you do not delete
the provisions above, a recipient may use your version of this file
under either the MPL or the [___] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of
the notices in the Source Code files of the Original Code. You should
use the text of this Exhibit A rather than the text found in the
Original Code Source Code for Your Modifications.]

(3) OpenSSL License と SSLeay

この製品は、OpenSSL License と SSLeay の条件に基づき認可されたソフトウェアを使用しています。
OpenSSL License と SSLeay に関する条項は、以下のとおりです。

LICENSE ISSUES
==========

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of
the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style
Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL
please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* ====================================================================
 * Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *    endorse or promote products derived from this software without
 *    prior written permission. For written permission, please contact
 *    openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *    permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *    acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
```

* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ==
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

```
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */
```

(4) その他の著作権とライセンス
この製品は、下記のようなそれぞれの異なるライセンス条項に基づき認可された複数のソフトウェアを使用しています。
ライセンス条項は以下のとおりです。

1. libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c,
list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but
with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy
of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal
in the Software without restriction, including without limitation the rights
to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell
copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-
nished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in
all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-
NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE
DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER
IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-
NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not
be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-
ings in this Software without prior written authorization from him.

2. libxslt

Copyright (C) 2001-2002 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy
of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal
in the Software without restriction, including without limitation the rights
to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell
copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-
nished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in
all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-
NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE
DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER
IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-
NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not
be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-
ings in this Software without prior written authorization from him.

3. MD5

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All
rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it
is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest
Algorithm" in all material mentioning or referencing this software
or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided
that such works are identified as "derived from the RSA Data
Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material
mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either
the merchantability of this software or the suitability of this
software for any particular purpose. It is provided "as is"
without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this
documentation and/or software.

4. httpd

```
**
** Copyright © 1995,1998,1999,2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>.
** All rights reserved.
**
** Redistribution and use in source and binary forms, with or without
** modification, are permitted provided that the following conditions
** are met:
** 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
**    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
** 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
**    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
**    documentation and/or other materials provided with the distribution.
**
** THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
** ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
** IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
** ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
** FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
** DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
** OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
** HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
** LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
** OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
** SUCH DAMAGE.
*/
```

5. telnet

```
/*
 * Copyright (c) 1983 Regents of the University of California.
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided
 * that: (1) source distributions retain this entire copyright notice and
 * comment, and (2) distributions including binaries display the following
 * acknowledgement:  ``This product includes software developed by the
 * University of California, Berkeley and its contributors'' in the
```

```
 * documentation or other materials provided with the distribution and in
 * all advertising materials mentioning features or use of this software.
 * Neither the name of the University nor the names of its contributors may
 * be used to endorse or promote products derived from this software without
 * specific prior written permission.
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED
 * WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF
 * MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
 *
 */
```

6. isys_fcntl.h, queue.h

```
/*-
 * Copyright (c) 1983, 1990, 1993
 *          The Regents of the University of California.  All rights reserved.
 * (c) UNIX System Laboratories, Inc.
 * All or some portions of this file are derived from material licensed
 * to the University of California by American Telephone and Telegraph
 * Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with
 * the permission of UNIX System Laboratories, Inc.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *    must display the following acknowledgement:
 *          This product includes software developed by the University of
 *          California, Berkeley and its contributors.
 * 4. Neither the name of the University nor the names of its contributors
 *    may be used to endorse or promote products derived from this software
 *    without specific prior written permission.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
*/
```

7. isys_pl_crypt.c, isys_getopt.c, isys_vsscanf.c, isys_pl_stdio.c

```
/*
 * Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
 * All rights reserved.
 *
 * This code is derived from software contributed to Berkeley by
 * Tom Truscott.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
```

 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *   must display the following acknowledgement:
 *   This product includes software developed by the University of
 *   California, Berkeley and its contributors.
 * 4. Neither the name of the University nor the names of its contributors
 *   may be used to endorse or promote products derived from this software
 *   without specific prior written permission.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 */

8. libarchive

/*-
 * Copyright (c) 2003-2008 Tim Kientzle
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 *
 */

/*-
 * Copyright (c) 2009 Michihiro NAKAJIMA
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES

 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/

/*-
 * Copyright (c) 2007 Kai Wang
 * Copyright (c) 2007 Tim Kientzle
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer
 *   in this position and unchanged.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */

/*-
 * Copyright (c) 2007 Joerg Sonnenberger
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */

/*-
 * Copyright (c) 2008 Miklos Vajna
 * All rights reserved.
 *

```
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */

/*-
 * Copyright (c) 2002 Thomas Moestl <tmm@FreeBSD.org>
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
*/

/*-
 * Copyright 2008 Colin Percival
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR(S) ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
```

```
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */
```

9. sdap_buf.c, sdap_buf.h

```
/*
 * Copyright (C) 2004 WIDE Project.
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. Neither the name of the project nor the names of its contributors
 *    may be used to endorse or promote products derived from this software
 *    without specific prior written permission.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 */
```

10. OpenGL

```
/*
** License Applicability. Except to the extent portions of this file are
** made subject to an alternative license as permitted in the SGI Free
** Software License B, Version 1.0 (the "License"), the contents of this
** file are subject only to the provisions of the License. You may not use
** this file except in compliance with the License. You may obtain a copy
** of the License at Silicon Graphics, Inc., attn: Legal Services, 1600
** Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043-1351, or at:
**
** http://oss.sgi.com/projects/FreeB
**
** Note that, as provided in the License, the Software is distributed on an
** "AS IS" basis, with ALL EXPRESS AND IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS
** DISCLAIMED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY IMPLIED WARRANTIES AND
** CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, SATISFACTORY QUALITY, FITNESS FOR A
** PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT.
**
** Original Code. The Original Code is: OpenGL Sample Implementation,
** Version 1.2.1, released January 26, 2000, developed by Silicon Graphics,
** Inc. The Original Code is Copyright (c) 1991-2000 Silicon Graphics, Inc.
** Copyright in any portions created by third parties is as indicated
** elsewhere herein. All Rights Reserved.
**
** Additional Notice Provisions: The application programming interfaces
** established by SGI in conjunction with the Original Code are The
** OpenGL(R) Graphics System: A Specification (Version 1.2.1), released
** April 1, 1999; The OpenGL(R) Graphics System Utility Library (Version
```

** 1.3), released November 4, 1998; and OpenGL(R) Graphics with the X
** Window System(R) (Version 1.3), released October 19, 1998. This software
** was created using the OpenGL(R) version 1.2.1 Sample Implementation
** published by SGI, but has not been independently verified as being
** compliant with the OpenGL(R) version 1.2.1 Specification.
*/

11. zlib

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
  version 1.2.1.2, September 9th, 2004

  Copyright (C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

  This software is provided 'as-is', without any express or implied
  warranty. In no event will the authors be held liable for any damages
  arising from the use of this software.

  Permission is granted to anyone to use this software for any purpose,
  including commercial applications, and to alter it and redistribute it
  freely, subject to the following restrictions:

  1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not
     claim that you wrote the original software. If you use this software
     in a product, an acknowledgment in the product documentation would be
     appreciated but is not required.
  2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be
     misrepresented as being the original software.
  3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

  Jean-loup Gailly   Mark Adler
  jloup@gzip.org   madler@alumni.caltech.edu

  The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for
  Comments) 1950 to 1952 in the files http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt
  (zlib format), rfc1951.txt (deflate format) and rfc1952.txt (gzip format).
*/

おもなシステム仕様

映像	圧縮方式		H.264
		対応解像度	• 1920 × 1080i • 1280 × 720p • 704 × 480p
	カメラ入力の対応解像度		1920 × 1080i
	PC信号入力の対応解像度		XGA、SVGA、VGA
音声	圧縮方式		MPEG-4 AAC LD
		音声帯域	20 kHz
		チャンネル数	2
		ビットレート	64 kbit/s、96 kbit/s（1CHあたり）
	音声処理機能		ステレオエコーキャンセラー
	マイク		バウンダリーマイクロホンKX-VCA001（別売品）
		標準集音範囲	半径約2 m、360°
		カスケード接続数	4台まで
		集音方式	ステレオ／モノラル[*1]
通信	呼制御		SIP
	その他		AV QoS制御、暗号通信（AES）
外部I／F	映像入力		HDMI（カメラ）× 2、RGB（PC）× 1（3入力を切り替え）
	映像出力		HDMI × 1、RCA（コンポーネント）× 1
	音声入力		専用マイク端子× 1、RCA（ステレオ）× 1
	音声出力		RCA（ステレオ）× 1（テレビへの音声出力はHDMI）
	ネットワーク		RJ45 × 1
	その他		• カメラ制御用シリアルRS-232C × 1 • メンテナンス用シリアルRS-232C × 1
その他	外形寸法 （幅×奥行き×高さ）		約430 mm × 約280 mm × 約80 mm
	質量		約4 kg
	消費電力		待機時：約30 W 最大時：約32 W

[*1] 設定によりいずれかを選択可能（83 ページ）、但し、MCU接続または他社接続の場合はモノラル

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは…

「困ったとき」（105 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　HD 映像コミュニケーションユニット

●品　番　KX-VC400/KX-VC500

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 ： お買い上げ日から本体 1 年間
ただし、リモコンの乾電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**

部品代　**部品および補助材料代**

出張料　**技術者を派遣する費用**

補修用性能部品の保有期間 8年

＊当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

・ お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。

・ 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ ナンバー ・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

・正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をさせていただきます。ただし、落雷や停電などの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、本装置が使えなかったことによる付随的被害の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告無しに変更することがあります。

索引

英数字
IPアドレスや電話番号を入力して発信する　36
KX-VCS101（MCU接続／他社接続用アクティベーションキー）　68
KX-VCS201（KX-VC500アップグレード用アクティベーションキー）　68
MCU接続を有効にする　71
MPR IDを確認する　95
Registration Key（レジストレーションキーを登録する）　95

あ行
アース（接地）　15
アクティベーションキー　68
アクティベーションキー、KX-VC500アップグレード用（KX-VCS201）　68
アクティベーションキー、MCU接続／他社接続用（KX-VCS101）　68
アドレス帳に登録　73
アドレス帳から発信する　34
アドレス帳を削除　75
アドレス帳を編集　74
暗号通信の設定　89
安全上のご注意　8
アンプ／アクティブスピーカー　25
音の設定　79
音質　55
音量　52
お手入れ　104

か行
拡張機能を有効にする　68, 94
　MCU接続を有効にする　71
　他社接続を有効にする　70
　多地点発信を有効にする（KX-VC400のみ）　69
各部のなまえとはたらき　17
画面の見かた　27
画面レイアウトを変更する（2地点通信中）　44
画面レイアウトを変更する（3地点通信中）　46
画面レイアウトを変更する（4地点通信中）　49
管理者パスワードの設定　93
機器情報　66, 82
機器名称の設定　77
言語の設定　89
困ったとき　105

さ行
サブビデオカメラの映像を共有する　60
自己診断を行う　87
システムの初期化を行う　94
自動応答　43
手動応答　42
仕様　149
肖像権　16
状態ランプ　20
情報の保護　15
スクリーンスタンバイ　21
スクリーンスタンバイの設定　93
セキュリティ　15
接続
　アンプ／アクティブスピーカー　25
接続状況　65
接続端子　18
専用マイク　20

た行
他社接続を有効にする　70
多地点発信を有効にする（KX-VC400のみ）　69
短縮ダイヤルで発信する　31
着信に応答する　42
通信の設定　79
通信履歴から発信する　39
電池交換　103

な行
日時の設定　78
ネットワークの設定　78
ネットワーク接続の確認を行う　86
ノイズを減らす　54

は行
バージョンアップ確認の設定　91
バウンダリーマイクロホン　20
パソコンの画面を共有する　56
発信する　31
発信元の設定　96
プライバシー　16
別売品　20
ボタン（本体）　17
ボタン（リモコン）　19

ま行

マイク　23
マイク位置の設定　82
マイクオフ　53
文字入力　100

ら行

リモートメンテナンスを行う　87
リモコンの設定　85

メモ

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120-878-410
パナハヨイワ

受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。
本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

■ This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	KX-VC400/ KX-VC500
販売店名	電話 (　　)　–		
お近くの販売会社	電話 (　　)　–		

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、**お買い上げの販売店**へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

PNQX2328RA-UF KK0709KE8021